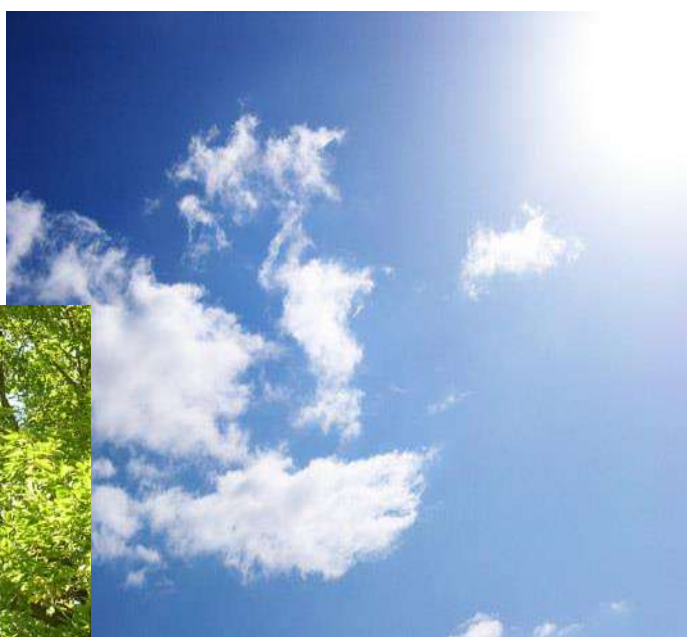


環境委員会
2021 年度

2021年度 環境報告書



株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

2021 年度 環境委員会

プログラム

開催日：2022 年 6 月 24 日（金）

1、環境活動報告

- 販売する住宅における環境負荷の低減
■住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動

営業課 岡田 眞由美

- 本社ビルにおける省エネ・省資源活動
■社内における電気の省エネ活動

管理部 横尾 由紀

- 本社における省エネ・省資源活動
■運転方法の注意喚起・車両取扱いの改善による燃費の向上

管理部 横尾 由紀

2、内部監査結果の評価

内部環境監査員 金丸 直高

3、記録類の評価

- 外部・内部環境情報

用地開発課 佐藤 淳

- 是正・予防処置報告書

環境管理責任者 町田 守靖

- 環境教育訓練実施記録

管理部 吉田 智

4、順守評価

環境管理責任者 町田 守靖

5、前回のマネジメントレビューに対する改善状況の報告

環境管理責任者 町田 守靖

6、環境の変化に関する情報及び改善の為の提案

環境管理責任者 町田 守靖

7、外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待

環境管理責任者 町田 守康

8、環境方針の見直し

代表取締役 今井 榮一

環境委員会
2021 年度

環境活動報告

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

販売する住宅における環境負荷の低減

住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動

報告者

営業課 岡田 眞由美

2021年度の環境マネジメントプログラムにおいて、事業推進本部では2020年度に続き「販売する住宅における環境負荷の低減」への取組みとして、「住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動」を実施致しました。

【営業開発課 取組報告】

今期の取組みとして、前期同様「環境負荷低減商品の提案」を行ってまいりました。営業開発課の活動の中で、戸建分譲販売時には標準仕様としての商品採用に加え、追加オプションの提案、注文住宅受注の際には標準仕様外のオプション提案を行ってまいりました。金額設定方法ではなく、Co2削減・省資源・住環境・災害対策・健康影響の5項目の影響度を考えた「エコポイント」として評価基準を設定して2年目の取組みとなり、前年度の数値をもとに、目標値を想定致しました。

前年度目標エコポイント：受注棟数（1棟当たり：7ポイント）

前年度結果：棟数8棟×1棟当り目標ポイント7=56ポイントに対し、123ポイント獲得（達成率219.64%）、突出してポイントの高かった注文住宅（桑原様邸）を除く1棟当たり平均値は11ポイントであったことから、今期目標数値は12ポイントと決めました。

今年度目標エコポイント：受注棟数（1棟当たり：12ポイント）

今年度結果／棟数：分譲11棟・注文0棟 計11棟

目標エコポイント：11棟×12ポイント=132ポイント

合計エコポイント（111）÷ 目標ポイント（132） = 達成率 84.09%

今期は注文住宅の受注棟数が少なく（エコ商品オプションなし）、またオープンハウス施工での貝取現場7棟については1棟3ポイントのみにとどまり（宅配ボックス）、目標達成に至りませんでした。

自社施工の桜上水現場4棟についてはエネファームの採用もあり、1棟当たり22ポイントとなっております。

昨年度から引き続き、課員のエコ商品に対する知識が不足（＝提案力不足）という点につきましては、勉強会の開催を行っております。（今期開催5回）

来期は、蓄電システム・省エネエアコンの2品目については提案品目から外すこととし、採用継続が妥当なものとして①宅配ボックス②EVコンセント③エネファーム④エコカラット⑤太陽光

パネル、新規採用として⑥機能性石膏ボード⑦機能性壁紙⑧G2 断熱の 3 品目、計 8 品目とします。

新規採用の 3 品目は、SDGs の観点からも、環境に配慮した性能を持つ商品として評価できるものであり、併せて基本となるポイント採点表の再考も行いました。

- ・機能性石膏ボード：吸湿、シックハウス対策、ホルムアルデヒド吸収分解（家具にも有効）
- ・機能性壁紙：消臭・調湿・アレル物質の低減
- ・G2 断熱：HEAT20・G2 レベルに該当する断熱性能

※HEAT20/2020 年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会のこと：深刻な環境問題を背景に、省エネルギーを推奨し断熱性に関する評価基準を段階的に定め、健康・設備・創エネの要素をバランスよく組み合わせた住宅を促進する活動を行う団体。各地域において、冬の期間に室内の体感温度を 10℃～15℃以上に保つことや、暖房の負荷を大幅に削減することを目指し、「ZEH」（ゼロ・エネルギー・ハウス）などの優れた省エネ住宅と同様に推奨している

※G2/温暖地では北海道の省エネ基準レベルに相当

今期は目標達成に在りませんでした。提案内容の修正を図り、再度来期目標ポイント数を受注棟数（1 棟当たり：12 ポイント）と設定します。併せて新規対象商品の勉強会も随時実施してまいります。

月	物件名	種別	構造/階数	新築採用品目/エコポイント	注文受注品/エコポイント	受注エコ商品 ポイント
8	多摩市貝取 全7棟	戸建	在来/2階	宅配ボックス×7棟 21		21
9	世田谷区桜上水 全4棟	戸建	SE/2階	宅配ボックス・EVコンセント・エネ ファーム×全4棟 12+32+44		88
2	世田谷区桜上水 A棟	戸建	SE/3階	エコカラット(A号棟のみ) 2		2
						0
						0
						0
						0

※分譲案件については①着工ベース(標準仕様として採用したものを計上)・②引渡しベース(お客様の要望で受注したものを計上)、注文案件に関しては竣工ベースにて記載しております。

2021年度 合計ポイント		111	達成率	84.09%
2021年度 目標ポイント	11 棟	12		

…今期の事業計画棟数にカウントされる棟数

【検査課 取組報告】

検査課の取組みとしては、環境負荷低減商品（エコ商品）1,200万円の売上目標に対して、実績が約1,579万円、達成率131.63%となり、今期目標を達成いたしました。

今期は、コロナ禍でお家時間が多くなったことや、1998年～2005年引渡しのお客様（団塊ジュニア世代：30代で自宅を購入して子育てが一段落されたお客様）の水回り交換リフォーム、外装リニューアルのご相談・ご注文を多く頂くことができ、目標を達成することができました。

しかし、来期は、昨今の景気低迷、商品不足、物価の高騰などによって、リフォーム工事はしばらく様子見のお客様が増えてくると思われます。

そこで、来期はOB顧客だけでなく、新規のお客様へのアプローチが必要になってくると思います。会社近隣へのポスティング活動を定期的に行い、新規顧客獲得・工事の受注を目指します。今後もOBのお客様からは、一定数お問い合わせがあると思いますので、新商品等でメリットになるものを知識に入れてご提案できるようにいたします。

48期目標は今期より300万多く、1,500万円となりましたので、外装メンテナンス工事における遮熱商品のご提案、ランニングコストの節約につながる商品情報に加えて、災害時などにも役に立つ商品もおすすめしてまいります。

目標	販売する住宅における環境負荷の低減
具体的施策	住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動
目標値	環境負荷低減商品の追加提案 受注金額(税込) リフォーム:1,200万円

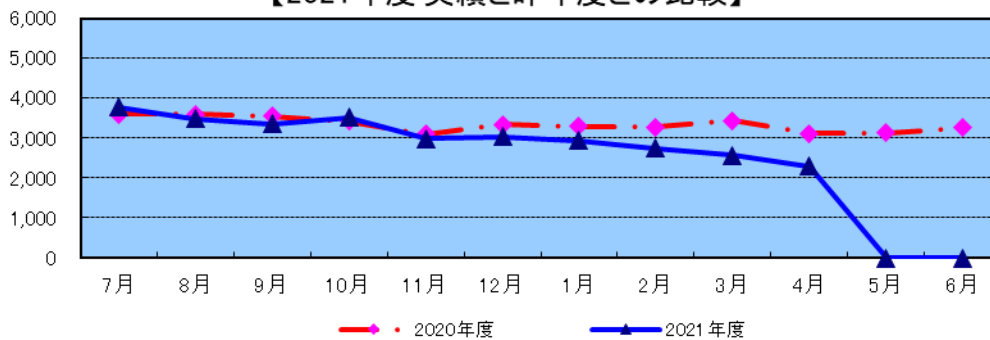
受注月	現場名	顧客名	工事内容	受注金額(税込)
8月	世田谷区砧4丁目	■■■■■	遮熱屋根葺替工事	1,650,000円
8月	所沢市三ヶ島4丁目	■■■■■	遮熱屋根葺替工事	701,600円
8月	練馬区向山4丁目	■■■■■	エコジョーズ給湯器交換工事	190,000円
8月	板橋区徳丸6丁目	■■■■■	節水型トイレ交換工事	242,000円
9月	練馬区関町南2丁目	■■■■■	屋根遮熱葺替工事	880,000円
9月	練馬区田柄3丁目	■■■■■	キッチンエコ水栓交換工事	33,000円
9月	中野区江原町2丁目	■■■■■	節水型トイレ交換工事	231,000円
10月	中野区中央2丁目	■■■■■	1・2階節水トイレ交換工事	660,000円
10月	杉並区今川1丁目	■■■■■	屋根遮熱コロニアル葺き工事	756,000円
10月	杉並区下井草5丁目	■■■■■	屋根遮熱塗装工事	240,856円
10月	練馬区田柄3丁目	■■■■■	玄関断熱ドア交換工事	418,000円
10月	練馬区西大泉2丁目	■■■■■	LED照明・キッチンエコ水栓交換	60,500円
10月	杉並区高井戸西3丁目	■■■■■	節水型トイレ交換工事トイレ交換工事	330,000円
10月	練馬区高松1丁目	■■■■■	LEDダウンライト交換工事	176,000円
11月	西東京市芝久保2丁目	■■■■■	キッチンエコ水栓交換工事	33,000円
11月	世田谷区東玉川2丁目	■■■■■	ペアガラス交換工事	96,800円
11月	和光市下新倉3丁目	■■■■■	屋根遮熱塗装リフォーム工事	289,500円
11月	板橋区徳丸5丁目	■■■■■	屋根遮熱コロニアル葺替工事	1,265,000円
11月	練馬区富士見台4丁目	■■■■■	給湯器エコジョーズ交換工事	187,000円

昨年度に引き続き電気の取り組みとして、省電力活動の維持を目的に、電力の消費許容範囲を設定し、その範囲内に収まることを目標としています。許容範囲を2020年の実績値+2%と定めた結果、7月と10月は許容範囲を超えましたが、それ以外の月では全て目標を達成しています。

取組として、PC稼働時間を元にした個人単位での労働時間計測と、セコム最終セット時間を元にした本社ビル全体の稼働時間計測を行い、それらを元に長時間勤務にならないよう注意喚起を行っています。また省エネの標語発信と、毎月1度行う社内パトロールにより、省エネ省資源の意識付けを繰り返し行っています。

今年は太陽光発電を導入したことにより、12月から日が長くなるにつれ電気料金も下がってきております。来期計画値は太陽光パネル予想発電量を加え、許容範囲を昨年度使用量実績の維持と設定致します。

【2021年度実績と昨年度との比較】



【2022年度 太陽光予想発電量・計画値】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
太陽光予想発電量	666.2kwh	719.8kwh	629.9kwh	612.6kwh	500.2kwh	507.3kwh	547.5kwh	567.1kwh	670.0kwh	722.5kwh	746.6kwh	609.5kwh
2022年度計画値	3,105.8kwh	2,762.2kwh	2,724.2kwh	2,905.4kwh	2,933.8kwh	2,983.7kwh	2,904.5kwh	2,774.9kwh	2,632.0kwh	2,285.5kwh	3,248.1kwh	2,723.9kwh

今期の燃費への取り組みは昨年度に引き続き、許容範囲を設定し、その範囲内に燃費を収めることを目標と致しました。許容範囲は車両の経年劣化による燃費性能悪化を見越して2020年度の計測対象車両の燃費実績値平均から3.35%下げた値とし、さらに昨年度の不適合是正処置内容に基づき、季節変動を反映させるため月ごとに許容範囲を設定しています。計測は引き続き満タン法で行い、電動自転車を使用した場合のプラス効果も継続していますが、割り戻しの燃費は昨年度平均の11.86km/lとしています。この結果7月と2月は未達成でしたが、それ以外の月は目標達成いたしました。

今回の取組も、昨年同様 Chatter での標語投稿によるエコドライブの意識付けですが、記憶にも残る様に標語のみではなく、画像を作成していただき、定期的に投稿しています。

燃費は気候や距離によって左右されやすい点とEV車への移行後の計測が難しくなるので、来期の取組については、たのめーる注文のグリーン購入率を70%以上に引き上げる取組に変更いたします。今回の調査シート作成にあたりグリーン購入率を確認したところ、47期は50.93%と約半分がグリーン商品ではありませんでした。製造過程および廃棄処理にあたって環境に負荷を与えない商品・再生材料を多く使用している商品・消耗部分の交換・補充などにより、長期使用が可能な商品・使用後に再使用・再利用が可能で、分別廃棄ができる商品の選別を行い、周知をし、グリーン購入率を上げた取組を行いたいと思います。

出光用					未達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成		
管理	共用	セレナ e-Power	練馬502さ5617	7302-0000-5510-1893	走行距離	652km	1119km	870km	2641km	968km	889km	1857km	
					燃料	71.598	121.412	71.938	264.932	0.002	84.038	72.832	156.882
					毎月最終給油日	2021/7/30	2021/8/31	2021/9/30	10月給油なし	2021/11/23	2021/12/26	2021/12/26	2021/12/26
					燃費10あたりリkm	9.10km	9.21km	12.09km	9.96km	#DIV/0!	11.51km	12.20km	11.83km
管理	共用	デイズ	練馬580た5458	7302-0000-5510-0499	走行距離	765km	1049km	947km	2761km	1497km	828km	3208km	
					燃料	67.248	90.482	79.442	237.162	90.142	60.742	64.522	215.402
					毎月最終給油日	2021/7/23	2021/8/29	2021/9/24	2021/10/29	2021/11/29	2021/12/27	2021/12/27	2021/12/27
					燃費10あたりリkm	11.37km	11.59km	11.92km	11.64km	16.60km	13.63km	13.68km	14.89km
管理	共用	ノア	練馬501む3436	7302-0000-5510-0994	走行距離	727km	865km	1592km	1102km	1168km	548km	2818km	
					燃料	81.802	81.192	0.002	142.992	76.902	75.362	42.812	195.072
					毎月最終給油日	2021/7/23	2021/8/30	9月給油なし	2021/10/22	2021/11/26	2021/12/23	2021/12/23	2021/12/23
					燃費10あたりリkm	11.76km	10.65km	#DIV/0!	11.13km	14.33km	15.49km	12.80km	14.44km
管理	共用	フィット	練馬501ら3866	7302-0000-5510-1299	走行距離	1139km	578km	1011km	2728km	813km	928km	2541km	
					燃料	113.262	62.252	102.142	283.752	69.902	59.922	76.532	206.382
					毎月最終給油日	2021/7/31	2021/8/21	2021/9/29	2021/10/23	2021/11/26	2021/12/24	2021/12/24	2021/12/24
					燃費10あたりリkm	10.04km	8.46km	9.89km	9.61km	11.63km	13.71km	11.83km	12.31km
管理	共用	デイズ	練馬580た654	7302-0000-5510-1695	走行距離	1184km	1013km	874km	3071km	785km	1069km	882km	
					燃料	114.202	100.052	76.102	290.352	64.582	77.212	60.352	202.142
					毎月最終給油日	2021/7/29	2021/8/31	2021/9/25	2021/10/25	2021/11/28	2021/12/21	2021/12/21	2021/12/21
					燃費10あたりリkm	10.36km	10.12km	11.48km	10.57km	12.15km	13.84km	14.61km	13.53km
共用 合計					走行距離	4467km	4624km	3702km	12793km	4197km	4855km	4108km	13160km
					燃料	428.192	461.382	329.612	1,219.182	301.522	357.292	317.042	975.852
					燃費10あたりリkm	10.43km	10.02km	11.23km	10.56km	13.91km	13.58km	12.95km	13.48km

出光用					達成	未達成	達成	達成	達成	達成	達成
管理	共用	セレナ e-Power	練馬502さ5617	7302-0000-5510-1893	667km	518km	960km	2145km	515km	1020km	
					64.942	42.512	83.402	190.852	42.352	83.362	
					2022/1/24	2022/2/11	2022/3/31	2022/4/22	2022/5/30		
					10.27km	12.18km	11.51km	11.23km	12.16km	12.23km	#DIV/0!
管理	共用	デイズ	練馬580た5458	7302-0000-5510-0499	885km	534km	793km	2212km	1119km	789km	
					66.222	40.992	60.782	167.992	77.872	56.632	
					2022/1/30	2022/2/24	2022/3/27	2022/4/29	2022/5/22		
					13.36km	13.02km	13.04km	13.16km	14.37km	13.93km	#DIV/0!
管理	共用	ノア	練馬501む3436	7302-0000-5510-0994	721km	910km	389km	2020km	769km	554km	
					56.482	69.542	28.172	154.192	55.202	39.002	
					2022/1/18	2022/2/14	2022/3/6	2022/4/19	2022/5/15		
					12.76km	13.08km	13.80km	13.212	13.93km	14.20km	#DIV/0!
管理	共用	フィット	練馬501ら3866	7302-0000-5510-1299	788km	774km	1179km	2741km	758km	682km	
					70.382	65.162	98.752	234.292	64.042	61.802	
					2022/1/25	2022/2/19	2022/3/31	2022/4/29	2022/5/27		
					11.19km	11.87km	11.93km	11.69km	11.83km	11.03km	#DIV/0!
管理	共用	デイズ	練馬580た654	7302-0000-5510-1695	1148km	458km	1165km	2771km	808km	1026km	
					92.242	38.482	87.292	218.012	68.442	81.242	
					2022/1/29	2022/2/15	2022/3/31	2022/4/23	2022/5/27		
					12.44km	11.90km	13.34km	12.71km	11.80km	12.62km	#DIV/0!
共用 合計					4209km	3194km	4486km	11889km	3969km	4071km	0km
					350.282	256.882	358.392	965.332	307.902	322.032	0.002
					12.01km	12.44km	12.51km	12.32km	12.89km	12.64km	#DIV/0!

環境マネジメント計画書(2022年度・48期)

2022/6/10 作成

計画(立案部署:事務局)	
承認	承認
22.6.10	22.6.10
全	全

環境目標 (管理方針)	具体的施策	目標値	部門	実行責任者	区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
二酸化炭素排出量の削減	社内における電気・省エネ活動	電力消費を抑えることを目標とする。太陽光パネル等、省エネ設備の導入、使用量実績の維持を目標とする。	全部門	管理部門 環境	年間計画	866.2kwh	719.8kwh	829.9kwh	812.8kwh	500.2kwh	507.3kwh	547.5kwh	587.1kwh	670.0kwh	722.5kwh	746.8kwh	608.8kwh
グリーン商品購入の推進	社内のグリーン商品購入を奨励し、分譲・分譲でカーゴライズしグリーン購入率を現状50.88%から70%以上に引き上げる。	追加活動を行い、グリーン購入率を70%以上とする	全部門	管理部門 環境	年間計画	3,105.8kwh	2,782.2kwh	2,724.2kwh	2,905.4kwh	2,833.8kwh	2,983.7kwh	2,904.5kwh	2,774.9kwh	2,632.0kwh	2,285.5kwh	3,248.1kwh	2,723.9kwh
省エネ・省資源 二酸化炭素排出量の削減の推進	住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の提案と省エネ活動	【検査額】 1,500万円 (リフォーム)	省エネ推進 本部	管理部門 環境	年間計画	備考 2022年度計画値は2021年度実績値より±0とし、太陽光パネル平均発電量をマイナスして算出しております。											
					年間計画	①製造過程および廃棄処理にあたって環境に負荷を与えない商品・再生材料を多く使用している商品・消耗部分の交換・補充などにより、長期間使用が可能な商品・使用後に再利用・再処理が可能で、分別基準が定める商品の選別を行う。 ②現状への負荷が少ない商品の購入を周知徹底する。(ChatGPT及び社内にて告知) ③定期的に売場において商品の見直し・選別を行う。 ④売場内容について適宜エディットを行い、毎月購入率を算出することにより、商品改善点を導き出し、目標達成を目指す。											
					年間計画	①注文住宅一打合せ時、戸建分譲・オープンハウスご提案時、検査額→リフォーム打合せ時(ある場合は訪問時)に、それぞれエコ商品をご提案する。 ②リフォームは営業開始後、毎月25日までに、IS0推進メンバーに報告、推進メンバーより定期にて毎月1回の結果を報告する。 ③検査額を商品ご提案するため、エコ商品は強化商品とするため、営業開始後、営業開始メンバーの意向を十分に必要に応じて、半期に一度、見直し・検討・入替を行う。 ④半期に一度、営業開始後、報告書を作成し、商品についての勉強会を行い、情報共有・商品知識・商品提案力の向上を図る。											
					目標	【検査額】 1,500万円 (リフォーム)											
					備考	強化品目は以下8点です。 ・エコカラット・宅配ボックス・EVコンセント・エネファーム・太陽光発電システム・蓄電システム・蓄電システム・蓄電システム・蓄電システム・蓄電システム											

環境委員会
2021 年度

内部監査結果の評価

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

内部監査結果の評価報告

報告者

内部環境監査員 金丸 直高

会社内部においては、昨年7月にトップマネジメント交代による組織変更やISO環境マニュアルの全面改訂、また外部においてはコロナウィルス感染状況拡大と、それに伴い発生したウッドショックによる木材価格の高騰、部品不足による設備機器納品の遅れなど、会社内外で様々な影響が発生しました。そんな中、業務を行う上でどのような支障が出ているか、対策はどのように行っているのかなどについて、各部門担当者の実業務から確認し監査を実施いたしました。

監査実施状況としては、前回監査での指摘事項に対する是正処置である、お客様の声の社内へのフィードバックが実践されていなかった点とゴミの分別基準が理解されていなかった点を指摘しておりますが、不適合の指摘はありませんでした。部門監査と事務所監査において全部門に監査を実施した結果、観察事項1件、改善提案事項1件、良かった点として評価するGoodポイントが6件という結果となりました。

下記に、指摘事項の内容と該当部署を記載いたします。

【観察事項】1件

1. 前回監査の改善事項への回答として、お客様から頂いた声をチャターにて社内全体にフィードバックする事になっていたが、実践されていなかった。営業

【改善提案】1件

1. プラ・リサイクルごみと燃えるごみの分別基準を理解していない人がいた。事務所

【Goodポイント】6件

1. マニュアル改訂に伴い環境影響にウィルス感染症(コロナ)を新しく盛り込んだ 責任者
2. 「利害関係者のニーズ及び期待」と「リスク又は機会」について別途「状況分析シート」を作成し1つの表にまとめた。責任者
3. 電子申告による申請などペーパーレス化に繋がる取り組みを実践した。管理
4. スプレッドシートの活用や資料のデータによる共有などによりペーパーレス化を行った。営業
5. 外出での移動を電車で切り替えることでガソリン消費削減・時間の有効活用を行った。PM
6. コロナによる納品遅れの情報を事前に入手し早期に発注したことで工期の遅れを防いだ。建設

【監査実施内容】

1. 監査実施日 : 2022年(令和4年)2月17日(木)~18日(金)
2. 対象部門 : 部門監査(環境管理責任者・管理部門・設計課・営業開発課、建設課)
事務所(PM推進課・用地開発課・検査課)
3. 対象現場 : 川崎市 ■■■様邸
4. 監査員 : 金丸(主任監査員)、吉田、
5. チーム編成 : 1チーム(金丸、吉田)

監査結果

今回の監査結果を、前年度の監査結果と部門ごとに比較致しました。

前年に引き続き不適合は無く、観察 1 件、改善提案 4 件減っています。

【前年との比較：部門 指摘事項】

監査部門	軽微不適合		観察		改善提案		合計	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
環境管理責任者	0	0	1	0	2	0	3	0
管理部門	0	0	1	0	1	0	2	0
設計課	0	0	0	0	1	0	1	0
営業課	0	0	0	1	1	0	1	1
PM 推進課	0	0	0	0	0	0	0	0
用地開発課	0	0	0	0	0	0	0	0
検査課	0	0	0	0	0	0	0	0
建設課	0	0	0	0	0	0	0	0
現場監査	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	0	0	2	1	5	1	7	2

【前年との比較：部門 Good ポイント】

監査部門	Good ポイント	
	2020	2021
環境管理責任者	0	2
管理部門	2	1
設計課	0	0
営業課	1	1
PM 推進課	1	1
用地開発課	0	0
検査課	0	0
建設課	0	1
現場監査	0	0
事務所	0	0
合計	4	6

【今後の内部監査に関する方針】

- 今回の内部監査の報告に対して、今井代表取締役社長より以下のコメントを頂きましたので、これらのお言葉を踏まえまして、今後の方針を検証いたしました。
 - 1, コロナ感染拡大に対して、早期にモバイル対応が出来ていたこと、また、デジタル技術への対応に早くから取り組んで、業務の効率化を上げていることが確認できました。
 - 2, 健康経営の取り組みを行う事により、残業時間の削減につながっているようなので、引き続き社員一人一人が、健康に対する前向きな自覚を持ち続けていくことを期待します。
 - 3, 社会的にもデジタル技術の変革が進んで行くことは必須でありますので、今後もより一層積極的に、DX化を含めてSDGs,健康経営の取り組みを継続して実践し、環境に寄与するように取り組んでください。
- コロナの感染による影響について、業務以外の社会情勢については、諸外国のコロナ感染拡大による工場ロックダウンの影響により、商品の部品や材料の調達に問題が起り、設備機器の納入期限の遅れや目途が立たないものも出てきているようです。

このような経済情勢の中、各部門での業務上の問題点はないか、今後の課題は何かなどまた、どのように対応しているか確認いたします。
- 健康経営の取り組みについては、残業時間の削減など消費電力への削減にもつながり、環境に寄与する取り組みとなるので、健康経営に取り組んでの社員への影響について確認いたします。
- 昨今の社会情勢においては、ガソリンの高騰、電気代の高騰など、原材料に影響される様々な値上げが問題となっています。そこで、各部門での業務上での問題点について確認いたします。
- DX化（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについては、各部門の業務にどのような取り入れ活用しているか、実際の業務にて確認いたします。
- SDGsに対して、弊社がどのように捉えて取り組んでいるか、また、その取り組みを外部にどのように発信し結果が出ているかを、業務に携わっている人を中心に生の声を拾い上げてみます。
- 脱炭素社会に向けた住宅建築物における省エネ対策について、ZEH、ZEB基準のスケジュールが早まる中、住宅設計の断熱性能基準が上がってきました。その中で、弊社としての省エネ対策はどうなっているのか、ZEH、ZEB基準の新規基準に対して、どのような対策を行っているのか確認いたします。
- これまで内部監査員のメンバーが2人体制で来ていましたが、来季より新しいメンバーの増員を図り、更に充実した監査が出来るようにいたします。
- 内部監査の質の向上と内部監査員のスキルアップを目的に、外部セミナーの受講をいたします。これまでに受講したことのない会社やセミナー内容にも挑戦したいと考えております。
- 別紙参考資料
 1. 内部環境監査年間計画書
 2. 内部環境監査実施計画書
 3. 内部環境監査報告書
 4. 内部環境監査不適合事項記録
 5. 内部環境監査観察事項記録
 6. 監査実施写真

ISO14001

様式-1(1)

内部環境監査年間計画書 (2021年度)		監査No		第 24 回		承認	作成					
		発行日		2021年10月5日								
年月	2021年						2022年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
被監査部門												
環境管理責任者	内部環境監査年間計画方針検討			内部環境監査年間計画書作成		内部環境監査実施計画書（監査対象・監査目的・監査計画）	チェックリスト作成	内部環境監査				環境委員会
アセット事業部門 (用地開発課)												
アセット事業部門 (営業開発課)												
プロダクト事業部門 (設計課)												
プロダクト事業部門 (建設課)												
ストック事業部門 (PM推進課)												
ストック事業部門 (検査課)												
管理部門												
<p>備考</p> <p>2020年から続くコロナウイルスの感染拡大により、政府から緊急事態宣言が幾度となく発令されている中、コロナ感染対策として業務形態が大きく変わって来ました。現在においても、在宅勤務や時差出勤、また、密集を避けるためのオンラインによる会議、マスクの着用、手指の消毒など変わりなく続けており、ニューノーマルとなってきています。</p> <p>そのような状況の中、在宅勤務や、時差出勤、オンライン会議などの業務において、各部門とのコミュニケーションの取り方や、スキルアップのための教育訓練など、問題なく進められているかなど、コロナ禍における業務状況についての課題や問題点などを中心に監査を実施いたします。</p>												

2014年4月14日改訂

ISO14001

様式-2

内部環境監査実施計画書

発行日 2022年1月14日

2022年2月16日修正

監査対象部門

- 代表取締役
 環境管理責任者
 管理部門
 営業開発課
 設計課
 建設課
 検査課
 PM推進課
 用地開発課

承認	作成

1. 監査対象

監査日	2022年2月17日 ~ 18日	監査No	第 24 回
対象部門	上記配布先の■部門	主任内部環境監査員	金丸 直高
規格	ISO14001/2015	内部環境監査員	吉田 智

2. 監査目的

監査目的	環境マネジメントシステムのISO14001の要求事項との適合性及び、有効性の検証改善を目的として内部環境監査を実施します。
監査方針	昨年2021年7月の第47期より、トップマネジメントの交代による会社組織の変更や環境マニュアルの全面改訂など、環境に関する大きな変革がありました。これを受けて現場で業務に携わる社員が、どのようにとらえて、業務に対応しつつ、影響が生じたかを確認します。また、社会情勢においてもコロナ感染の拡大が止まらず、昨年変化してきた業務形態を通して、約一年半どのような対策を持ち対応し、またどのような支障が出ているか、そして、それをどのように改善したかを監査いたします。 <input checked="" type="checkbox"/> 前回監査指摘事項確認 <input checked="" type="checkbox"/> 自主向上事項に関する審査 <input checked="" type="checkbox"/> 組織、商品、サービス等、変化の有無 <input checked="" type="checkbox"/> EMSコアエレメントに関する審査 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情の受理、是正処置に関する審査 <input checked="" type="checkbox"/> 現場の審査 <input checked="" type="checkbox"/> 環境側面変更に伴う影響評価の審査 <input checked="" type="checkbox"/> 環境保全施設の管理状況、パフォーマンスの審査 <input checked="" type="checkbox"/> 遵法に関する審査
環境マネジメントシステム文書	環境マニュアル(2021年11月1日改訂 / DN-M-49) 内部環境監査規定(2020年7月15日改訂 / DN-10-09)

3. 監査計画

監査準備打合せ	2021年12月1日	出席者	金丸 直高 吉田 智																																																																		
監査計画	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>9:00</th> <th>10:00</th> <th>11:00</th> <th>12:00</th> <th>13:00</th> <th>14:00</th> <th>15:00</th> <th>16:00</th> <th>17:00</th> <th>18:00</th> </tr> <tr> <td>オープニングミーティング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月17日(木)</td> <td></td> <td>環境管理責任者</td> <td>管理</td> <td>設計</td> <td>移動</td> <td>現場確認</td> <td>移動</td> <td>PM</td> <td>検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月18日(金)</td> <td></td> <td>PM</td> <td>営業</td> <td>用地</td> <td></td> <td></td> <td>指摘事項まとめ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境管理責任者事前打合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クロージングミーティング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	オープニングミーティング											2月17日(木)		環境管理責任者	管理	設計	移動	現場確認	移動	PM	検査		2月18日(金)		PM	営業	用地			指摘事項まとめ				環境管理責任者事前打合											クロージングミーティング										
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00																																																											
オープニングミーティング																																																																					
2月17日(木)		環境管理責任者	管理	設計	移動	現場確認	移動	PM	検査																																																												
2月18日(金)		PM	営業	用地			指摘事項まとめ																																																														
環境管理責任者事前打合																																																																					
クロージングミーティング																																																																					
備考																																																																					

2016年9月16日改訂

ISO14001

様式-5 1/3

内部環境監査報告書

提出先 : 代表取締役
写し : 環境管理責任者

作成

[報告日] 2022年4月8日

監査No	第 24 回	監査日	2022年2月17日(木) ~ 2月18日(金)	
主任 内部環境監査員	金丸 直高	対象部門	17日	環境管理責任者・管理・設計・建設・現場(川崎市 〇〇 邸) 事務所 (PM推進・検査)
内部環境監査員	吉田 智		18日	営業開発、事務所(用地開発課) ゴミ保管状況

[監査結果集計一覧表]

被監査部門	評 価						合計	備 考
	適合		不適合		改善 提案	Good ポイント		
	適合	観察	軽微	重大				
環境管理責任者	4					2	6	
管理部門	7					1	8	
設計課	6						6	
営業開発課	3	1				1	5	
建設課	4					1	5	現場にて監査実施
PM推進課(事務所監査)	4					1	5	
用地開発課(事務所監査)	5						5	
検査課(事務所監査)	5						5	
現場(川崎市 〇〇 邸)	5						5	
廃棄物保管状況	4				1		5	地下、1階(駐車場脇、奥ゴミ保管場所)、2階及び3階(給湯室、コピー室)
合 計	47	1	0	0	1	6	55	チェックリスト項目合計 55

2010年10月1日改訂

内部環境監査報告書

提出先 : 代表取締役
写し : 環境管理責任者

〔報告日〕 2022年4月8日

監査No	第 24 回	監査日	2022年2月17日(木) ~ 2月18日(金)
主任 内部環境監査員	金丸 直高	対象部門	17日 環境管理責任者・管理・設計・建設・現場(川崎市 〇〇〇〇 邸) 事務所(PM推進・検査)
内部環境監査員	古田 智		18日 営業開発、事務所(用地) ゴミ保管状況

総括所見

第24回内部環境監査の実施状況についてご報告いたします。今回の監査方針は、昨年7月にトップマネジメントの交代による組織変更や環境マニュアルの全面改訂など、会社内の業務環境が大きく変わったこと、外部の環境ではコロナウイルス感染状況が収まりきらず、拡大を続けてきていること、また、ウッドショックによる木材価格の高騰、設備機器の納品の遅れが出るなど、様々な影響を受けて来ている中で、業務を行う上でどのような支障が出ているか、その対策はどのようになっているのかなど、各部門の担当者の実業務の中から確認し、改善できているかを監査いたしました。監査チームとしては、昨年同様のメンバー2人で、1チーム体制にて行いました。下記に各部門からヒアリングを行った内容をもとに報告いたします。

【環境管理責任者】 Good:2
コロナ感染拡大及びウッドショックによる、会社の業務形態上での影響について確認しました。コロナについては、これまでも在宅勤務に対応できるパソコンの検討を行ってきたので、大きな問題はなかったとの事でした。ウッドショックについては、各部門ごとに任せてあるので、詳細は不明との事でしたが、大きな問題となることはなかったようです。環境方針の変更、責任権限の変更もなかったとの事でしたが、環境影響評価の見直しは行い、ウイルス感染症を新たな環境側面と捉えて、2021年11月に見直しを行っていることが確認できました。指摘事項はありませんでした。

【管理部門】 Good:1
管理部門の業務内容を確認したところ、環境に関する発信を一番多く出している部門であると同時に、実施していることがよくわかりました。特に管理部門では行政への申請業務が多くあるようですが、最近ではWEB申請が可能になっている業務はWEBにて申請を行い紙の省力化を図るとともに、移動時間の効率化にも繋がっていました。また、社員の健康に関する取り組みで経産省の推薦している健康経営の取り組みを行い、生産性向上や残業時間削減に繋がっていました。

【営業部門】 観察:1, Good:1
コロナ禍における業務の中で、部門内会議にて紙での議事録を作成するのではなく、スプレッドシートにより画面上で全ての参加者が各パソコンから記載ができる方式を用いて、部門としてペーパーレス化に取り組んでいるとの事でしたので、Goodポイントといたしました。しかし、前回監査の指摘事項に対する是正処置として「お客様から頂いた声を物件毎のチャーターにて社内全体にフィードバックを行う」と定めていましたが、実施していることが確認できませんでしたので、観察事項として指摘していたしました。

【設計部門】
環境に寄与する取り組みとして、部門としてはCO2排出量を抑える住宅を設計し世の中に送り出していると考えており、長期優良住宅はZEH基準の見直しが進むため早期に情報を取得するように検証し、情報は予実報告会やチャーターにてアップして共有を行っているとの事でした。注文受注への取り組みとしては、営業部門と物件の振り返りを行ない、今後はなるべく早い段階にて、設計担当者がお客様と直に会えるように改善する事になりました。設計の力量を上げるために、展示会へ行ったり各メーカーのショールーム訪問や外部設計士とのミーティングを定期的に行っている事が確認出来ました。

【建設部門】 Good:1
ウッドショックの影響について確認したところ、納品に遅れが出ていたが、材料不足や商品不足など、照明、給湯器などの納期情報を早めにキャッチし発注をかけることにより、大きな遅れが出ずに済みました。緊急事態への対応としては、現場で職人や大工さんがケガを負った時は、まず状況を確認し会社全体で必要などへ連絡を入れました。SDGsについては様々な考えられるが、SE構法を採用していること、LED照明、エネファームなどが該当するとの回答がありました。

【検査部門・事務所】
代表取締役社長からの環境方針を受けて、検査部門として業務を行う際に、どのような事を意識して取り組んでいるか確認したところ、お客様が望まれることが大前提であり、そこにランニングコスト減などメリットがうまくマッチするエコ商品をご紹介しているとの事でした。世の中の流れや需要を考えて、お勧めしていきたいとの事でした。

【用地部門・事務所】
モバイルワークが主となり当初はコミュニケーションが取りづらかったが、ライングループ作成などで現在は円滑にコミュニケーションが取れているとの事でした。会社に寄らず直接向かえるため車の使用頻度も減っています。また環境に関するものとして、2021年12月7日に解体要綱を変更し、解体業者よりマニフェストA等の写しを貰い、正しく処理されている事を確認するようにしていました。

【PM部門・事務所】 Good:1
環境方針において、課として環境を意識して取り組んでいる事について確認したところ、外出時の移動手段として、移動距離などを考慮しながら可能な限り、車ではなく、電動自転車を活用しており、環境負荷の低減に繋がる行動を行っていましたので、Goodポイントとして評価いたしました。また、コロナに伴い空室案内を訪問ではなくDMで行う方向で現在検討しているとの事でした。

【現場監査】
当該現場の外部設計による建築費についての親戚や苦勞しどころについてヒアリングをおこなったところ、外部、内部ともに建築仕様が違ふ事、毎週1回設計事務所と定例打合せがあることなどが確認出来ました。コロナ対策についての感染対策としては、人が密集することがないよう、職人の配置が重ならないように調整を行っていました。また、もともと広い現場なので、悪くなることも始らなかったとの事でした。

【ゴミ保管状況】 改善:1
ごみの集積所において、分別状況を確認したところ、プラリサイクルゴミと燃えるゴミについて、練馬区のガイドラインに基づく分別になっていないゴミがあり、分別方法についてヒアリングを行ったところ、プラゴミと燃えるゴミの分別方法を理解していませんでしたので、改善提案として指摘を行いました。

【監査総合評価】
今回は、コロナの感染拡大による影響を大きく受けて、これまでにない業務体系の変化の中があったことに対して監査を実施しました。オンラインでの監査も検討しましたが、業務の内容を確認するうえでは、記録やマニュアルなどの資料の確認も難しいと判断し、3密(密閉、密接、密集)を十分に考慮し、マスク着用など感染対策を施しての監査を行いました。監査結果としては、**観察事項が1件、改善提案事項が1件**、良かった点として評価するGoodポイントが6件と言う結果になり、前回監査から観察改善提案が5件減り、Goodポイントが2件増える結果となりました。指摘事項が減ったこと、良い点が増えたことは全体的には、環境に対する取り組みがうまく回っているという結果となりましたが、監査としては業務の課題や改善の提案を行う事が出来なかったことに対して、大きな課題が残った結果となってしまいました。
今回の監査結果に対する総合評価としては、監査結果の内容からも、環境に対する取り組みが、これまで以上に充実していたと評価します。但し、今回の大きな課題として残った、監査の甘さによることは、会社にとって大きな課題が残る結果ではありましたが、「今や向上」と判断致します。
最後に、今回の監査では改善に繋がらぬ指摘事項、改善提案を十分に行う事が出来なかったことを大いに反省しています。会社自体の環境に対する取り組みが、年々向上していることではありますが、内部監査としては、改善の提案をできないならば、監査を実施する意味がないと認識しております。今後、これまでの課題でありました監査員の増員を図り、内部監査の増強を行うとともに、スキルアップに取り組んでまいります。

2010年10月1日改訂

ISO14001

様式-5 3/3

〔監査結果〕

評価	内部監査結果(是正要求事項)	不適合事項記録№、ISO規格
観察	前回監査の改善事項への回答として、お客様から頂いた声を物件毎のチャーターにて社内全体にフィードバックを行うとありましたが、実践していることが確認できませんでした。また、マネジメントプログラムでの年間計画の中に、お客様の声を反映して改善を行うという項目がありますが、こちらも実践している事が確認出来ませんでした。	7.4.3 外部コミュニケーション (営業部門)
改善提案	ごみの集積所において、分別状況を確認したところ、プラ・リサイクルゴミと燃えるゴミについて、練馬区のガイドラインに基づく分別になっていないゴミがあり、分別方法についてヒアリングを行ったところ、プラゴミと燃えるゴミの分別方法を理解していませんでした。	8.1 運用の計画及び管理 (廃棄物保管状況)
Good	マニュアル改訂における環境影響評価表修正の際に、環境影響の評価対象としてウイルス感染症(新型コロナウイルス)を盛り込んでいました。コロナ禍による社会情勢の変化を人の健康への影響と認識し、会社における環境影響として早期に反映させていました。	10.3 継続的改善 (環境管理責任者)
Good	当社の状況での「利害関係者のニーズ及び期待」と「リスクまたは機会」について、「状況分析シート」を別途作成して一つの表にまとめておりました。これにより、利害関係者の種別と、それぞれが関連するリスク・機会が分かりやすく表現されていました。	6.1 リスク及び機会への取り組み (環境管理責任者)
Good	管理部で行っている各申請業務について、これまで用紙での申請を行っていましたが、可能なものについては電子申告による申請に移行するなど、ペーパーレス化に繋がる取り組みを実践していました。	8.1 運用の計画及び管理 (管理部)
Good	営業開発課内で、スプレッドシートを活用したり、資料を印刷せずデータで共有するなどして、ペーパーレス化に取り組んでいました。	8.1 運用の計画及び管理 (営業部門)
Good	現場確認や業者訪問への外出時に、車の使用を減らして、電車での移動に切り替える事により、ガソリン消費量削減のほか、移動時間にメール等の確認を行うなど、業務の効率化を進めています。	5.2 環境方針 (PM部門・事務所)
Good	コロナ及びウツドンショックの影響について確認したところ、給湯器や照明、トイレなどの納品に遅れが出たとのことでしたが、早期に情報を入手し、通常より早い発注をかけた事により、工期の遅れを防ぐことができました。	6.1 リスク及び機会への取組み (建設部門)

代表取締役コメント	確認
<p>昨年から続いているコロナの感染拡大が収まっていない中、早期にモバイルワークへの対応が出来ており、デジタル技術への対応に早くから取り組んで、業務の効率を上げていることが確認出来ました。</p> <p>また、健康経営の取組みを行う事により、残業時間の削減に繋がっているようなので、引き続き社員一人一人が、健康に対する前向きな自覚を持ち続けていくことを期待します。</p> <p>社会的にもデジタル技術の変革が進んで行く事は必須でありますので、今後もより一層積極的に、DX化を含めて、SDGs、健康経営の取組みを継続して実践し、環境に寄与するよう取り組んでください。</p>	<p>確認</p> <p>・フォローアップ確認 次回監査にて確認</p> <p>■ 必要 □ 不要</p>

2010年10月1日改訂

【オープニング・部門監査】 2022.02.17・18



オープニングミーティング



環境管理責任者



管理部門



設計課



PM 推進課



検査課



営業開発課



用地開発課

【現場監査】 2022.02.17

川崎市 ■■様邸



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査

【ゴミ保管状況・責任者事前打合わせ・クロージング】 2022.02.18



3階ゴミ保管場所



2階ゴミ保管場所



1階ゴミ一時保管場所



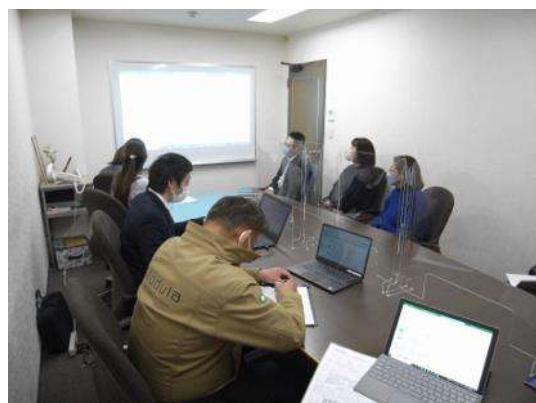
地下ゴミ保管場所



駐車場ゴミ保管所



駐車場ゴミ保管所



クロージングミーティング



クロージングミーティング

環境委員会
2021 年度

記録類の評価

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

外部・内部環境情報

報告者 用地開発課 佐藤 淳

外部・内部環境情報の発生状況は下記の通りです。

外部・内部環境情報

報告日：2022年5月26日

外部・内部環境情報の発生状況は下記のとおりです。

- ・47期外部環境情報 計26件
- 内部環境情報 計0件

	報告者	件数	内容
外部情報	岡田	1	<p>日時：令和3年7月26日</p> <p>場所：[REDACTED]</p> <p>相手：理事長</p> <p>内容：当社販売物件の浜田山4丁目のポスティングによりクレーム</p> <p>対応：以後、ポスティングをしないように謝罪</p> <p>再発防止：ポスティング禁止リストに入力済となります。</p> <p>是正の必要性の評価：無</p> <p>再発防止の有効性：今後、近隣エリアにポスティングをする際はリストを確認する 有効性有り</p>
外部情報 環境該当	渡部課長	2	<p>日時：令和3年7月27日</p> <p>場所：目黒区 [REDACTED]</p> <p>相手：[REDACTED] (隣地)</p> <p>内容：本件の基礎工事解体による振動のクレームになります。</p> <p>対応：今週いっぱい解体工事が終了する旨をお伝えし、解体業者からも柳池様に状況と進捗の説明。振動が強く発生する工事は後1日と説明し解体工事を続けさせていただくこととなる。</p> <p>再発防止：本件が地下のある物件となり予め近隣の家屋調査などを実施し住まわれている方との関係性も築いていく。</p> <p>是正の必要性の評価：有</p> <p>再発防止の有効性：有</p>
外部情報	小野課長	3	<p>日時：令和3年8月17日</p> <p>場所：[REDACTED]ビル (板橋区南常盤台)</p> <p>相手：2階テナント</p> <p>内容：出窓部分の鉄骨フレームからの雨漏り。過去に雨漏りした部分とは別のフレーム部と鉄骨フレームが3つに分かれている作りでガラスとフレーム部のシーリングに隙間があると浸水してフレーム内部を流れてリベット部から雨漏りしたと考えます。</p> <p>対応：フレーム部のシーリング打ち替え処置を行う予定。</p> <p>再発防止：無 (既存建物の経年劣化のため)</p> <p>是正の必要性の評価：無</p> <p>再発防止の有効性：無</p>

外部情報	岡田	4	<p>日時：令和3年9月18日 場所：[REDACTED] 相手：管理人 [REDACTED] 内容：西台セントラルマンションのポスティングによるクレーム 対応：以後、ポスティングをしないように謝罪 再発防止：ポスティング禁止リストに入力済となります。 是正の必要性の評価：有 再発防止の有効性：今後、近隣エリアにポスティングをする際はリストを確認する 有効性有り</p>
外部情報	芦田次長	5	<p>日時：令和3年9月22日、令和3年9月25日 場所：文京区 [REDACTED] 相手：[REDACTED] (北側隣接地) 内容：[REDACTED] 宅のシャッター及び境界フェンス破損 対応：解体業者にて謝罪し、業者負担にて交換・補修する旨を説明。その後、改めて芦田次長も訪問し謝罪。11/26 破損したシャッター及び境界フェンスに関しての補修完了。[REDACTED] 依頼のメーカーに直接発注しその費用を解体業者が負担済み。 再発防止：狭小地の際は特に注意し解体作業を行うこと。解体が進むにつれて養生仮囲い等が不十分になるケースがあるため改めて周知・徹底するよう指示する。 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：現場毎に解体の際は配慮する 有効性有り</p>
外部情報	渡辺主任	6	<p>日時：令和3年9月26日 場所：杉並区 [REDACTED] 相手：[REDACTED] 内容：リビングに設置されているシーリングファンの軋み音 対応：小野課長が [REDACTED] 様に訪問しシーリングライトを確認するも軋む音が確認できず経過観察となる。 再発防止： 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：無</p>
外部情報	小野課長	7	<p>日時：令和3年10月13日 場所：西東京市 [REDACTED] 相手：[REDACTED] 内容：1階テラスたたき 表面モルタルの乾燥収縮によるクラック 対応：小野課長にて現地確認 再発防止：今後、コンクリート土間、モルタル土間で2m程度を超えるサイズになると表面クラックが発生する可能性が高くなります。そのため、2m以下ごとに伸縮目地を設置してクラック対策する必要があります。 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：2m以下ごとに伸縮目地を設置 有効性有り</p>

外部情報	福田	8	<p>日時：令和3年10月19日</p> <p>場所：[REDACTED]</p> <p>相手：[REDACTED]</p> <p>内容：一か月前から下の階の家具等を動かす振動を伴う音に度々悩まされている。</p> <p>対応：①入居者全員に向けての生活音への配慮の案内文をポスティング。②経過観察。③それでもダメな時は、発音者へ直接、弊社から相談する。管理MSの掲示板や各入居者へポスティングをし経過観察をし様子を見る。</p> <p>再発防止： 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：</p>
外部情報	渡辺主任	9	<p>日時：令和3年11月15日</p> <p>場所：世田谷区 [REDACTED] 区画</p> <p>相手：[REDACTED]</p> <p>内容：A区画とB区画の間仕切りブロックフェンスをB区画敷地内に当社施工で新設したが、A区画側に1cmほど越境している。</p> <p>対応：①施工した(株) [REDACTED] と現地確認をする②A区画側のブロックフェンスを施工した部分の埋め戻しが不十分のため、B区画の建築の際に什器等の重みで土がA区画側へ押されブロックが動き越境。11月23日より(株) [REDACTED] 負担で是正工事予定</p> <p>再発防止：ブロックフェンスを施工した後に防草シートを張るため施工完了後に細かく確認をする。</p> <p>是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>
外部情報	岡田	10	<p>日時：令和3年11月20日</p> <p>場所：[REDACTED]</p> <p>相手：管理人 [REDACTED]</p> <p>内容：阿佐谷南3丁目ポスティングによるクレーム</p> <p>対応：以後、ポスティングをしないように謝罪</p> <p>再発防止：ポスティング禁止リストに入力済となります。浦上さんにて謝罪しチラシを回収済。</p> <p>是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：今後、近隣エリアにポスティングをする際はリストを確認する 有効性有り</p>
外部情報	渡辺主任	11	<p>日時：令和3年11月20日</p> <p>場所：[REDACTED] (ハナ)</p> <p>相手：[REDACTED]</p> <p>内容：外構工事中に隣接地アパートの下水管が本件敷地内(東側通路側)に越境</p> <p>対応：水道業者に現地確認をして頂きアパート所有者と接触予定→アパート所有者合意のもと越境の覚書取得。下水管の是正が難しいため、アパート所有者と12月11日に将来是正の越境の覚書の取得</p> <p>再発防止：敷地内東側の通路部で解体時に建物が建っておらず掘削をしていなかったため、解体時に注意をする</p> <p>是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>

外部情報 環境該当	渡辺主任	12	<p>日時：令和3年11月20日</p> <p>場所：杉並区 [REDACTED] (東側隣接地)</p> <p>相手：賃借人 [REDACTED]</p> <p>内容：解体による振動</p> <p>対応：解体業者にて訪問し謝罪。本件敷地内の側を重機でさらう際に揺れてしまっている旨と解体工事期間を再度伝え解決。相手の方は夜勤で土木の仕事をしているためご理解いただく。</p> <p>再発防止：解体工事で近隣の方には迷惑をかけてしまうため、今後もすぐに連絡し謝罪をすることを徹底していきます。</p> <p>是正の必要性の評価：無</p> <p>再発防止の有効性：今後も近隣対応のスピードや事前案内を徹底する 有効性有り</p>
外部情報	川本常務	13	<p>日時：令和3年11月20日</p> <p>場所： [REDACTED]</p> <p>相手：賃借人 [REDACTED]</p> <p>内容：浴室バッキンからの水漏れ</p> <p>対応：福田さん方で現地訪問し水漏れ箇所の確認。外部業者へ依頼しないと直せないため現在、見積依頼中。原因は経年劣化。</p> <p>再発防止：</p> <p>是正の必要性の評価：無</p> <p>再発防止の有効性：</p>
外部情報	河野	14	<p>日時：令和3年11月24日</p> <p>場所：渋谷区 [REDACTED]</p> <p>相手： [REDACTED] 北側隣接地</p> <p>内容：解体工事によるクレーム。近隣挨拶もなく急に解体が始まったため。</p> <p>対応：現在、解体工事を止め [REDACTED] へ状況説明と今後の解体内容について25日に説明予定→・12/10北側隣地 [REDACTED] 宅の家屋調査（事前）実施・本件北側に防音シートを施工することで工事再開を了承。・翌週に今後の工程表を提出（ [REDACTED] ）・12/14（火）防音シート施工後、解体工事再開。武藤様宅へ訪問予定→解体工事再開の承諾</p> <p>原因の特定：近隣挨拶をした際に入り口がわかりづらく挨拶が漏れていたことが原因。</p> <p>再発防止：近隣挨拶をする際に地図上で近隣状況を事前に把握する。</p> <p>是正の必要性の評価：無</p> <p>再発防止の有効性：有</p>
外部情報	岡田	15	<p>日時：令和3年11月29日</p> <p>場所： [REDACTED]</p> <p>相手：管理人 [REDACTED]</p> <p>内容：西台セントラルマンションのポスティングによるクレーム</p> <p>対応：有田次長から連絡をしていただき謝罪済みです。</p> <p>再発防止：ポスティング禁止リストに入力済み以後、ポスティングを禁止とする</p> <p>是正の必要性の評価：無</p> <p>再発防止の有効性：ポスティング禁止リストに入力済み 有効性有り</p>

外部情報	高野主任	<p>16</p> <p>日時：令和3年12月1日 場所：杉並区 [REDACTED] 相手：[REDACTED] (南側隣接地) 内容：[REDACTED]の解体作業員が阿佐谷南1丁目の現場の敷地内で [REDACTED] 宅に向かって立小便をしていた。 対応：12/2 (木) 10時20分 [REDACTED] と一緒に謝罪の為訪問するが不在。12/2 (木) 17時30分再度、 [REDACTED] と一緒に訪問。 [REDACTED] の奥様に丁寧に謝罪。→対応完了。</p> <p>再発防止：担当の [REDACTED] から [REDACTED] の社長へ今回のクレーム内容を報告。今週末に [REDACTED] の全社員を集め指導を行うとのこと。 [REDACTED] にも現場の管理を徹底するよう依頼。</p> <p>是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：今回、トラックの駐車位置や作業員の休憩場所、路上喫煙が気になり、現地確認の度に見かけたら注意はしていましたが、再度徹底して改善するよう依頼しております。有効性有り</p>
外部情報	小野課長	<p>17</p> <p>日時：令和3年12月7日 場所：西東京市 [REDACTED] 相手：[REDACTED] 2006年お引渡し 内容：バルコニー外壁のサイディングが12月6日夜落下して、駐車場に落ちてきた。 対応：小野で、12月7日訪問して確認。バルコニー外壁のサイディングがまるまる1枚落下した状況。縦450mm 幅3m。原因、下側の引っ掛け金物が設置されてなく、釘止めも少なかったためサイディングの膨張により割れて落下した状況でした。通常金物があれば、落下することは低いのですが、無かったので、塊で落下した状況です。12月24日是正工事予定 再発防止：施工不備もあるので、弊社で修理する旨をお話しして対応する予定。 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>
外部情報	河野	<p>18</p> <p>日時：令和3年12月21日 場所：渋谷区 [REDACTED] 相手：[REDACTED] (南側隣接地) 内容：[REDACTED] 宅の風呂場と洗濯機の排水がされない。 対応：本件の解体中の敷地内を掘削調査したところ隣地の配管が本件側に越境している状況で、解体中の破損が原因で排水トラブルが発生。配管の越境是正等について水道業者と打合せを行い今後の方針を決める。 再発防止：上記、11にあるよう解体中に越境の発見。 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>

外部情報	小野課長	19	<p>日時：令和4年1月18日 場所：渋谷区■■■■■■■■■■ (1995年引渡し) 相手：■■■■■■■■■■</p> <p>内容：外部 汚水配管に雨水管を合流している。合流部分の施工が雑で、経年で土が流れ込んで昨年末にキッチンから排水が溢れてきた。</p> <p>対応：1月18日に小野課長訪問。当時、外部発注で分譲していた時期ですが、明らかな施工不良で、今後のリフォーム等でのお付き合いも考慮しまして、弊社負担で是正いたします。2月25日是正工事予定</p> <p>再発防止： 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：</p>
外部情報	金丸部長	20	<p>日時：令和4年1月24日 場所：■■■■■■■■■■ (2012年引渡し) 相手：■■■■■■■■■■</p> <p>内容：住戸内壁の亀裂が入った。建設関連の知人に確認したところ「壁紙の内側にある板の接着がはがれ、一部の壁がはがれている」</p> <p>対応：1月28日(金)対応。リフォーム会社と2人で訪問する。現状を確認しクラックの原因を説明する。・窓枠と壁の接合部が地震により揺れたことによる。・窓枠が湿気により乾燥収縮を繰り返したことによる。居住者の要望としては、無償にて補修を行ってほしいとの事でしたが、保証期間を過ぎている事と経年劣化に起因する事、天災に起因するものは対象外であることなどをご説明し了承いただいた。また、クラック部分の簡易補修として、クラック部分にシーリングを施し目立たないように無償にて対処した。</p> <p>再発防止：無 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：</p>
外部情報	福田	21	<p>日時：令和4年2月9日 場所：■■■■■■■■■■ 相手：本物件東隣家、■■■■■■■■■■</p> <p>内容：■■■■敷地内に、1~2ヶ月前位から、タバコが度々投捨てられており、都度、■■■■が片づけて来た。位置的に、弊社からのものと断定。森様、弊社へ改善を求めている。</p> <p>対応：投捨ての無いよう周知を行う旨、約束し、■■■■には気持ちを納めて貰った。</p> <p>再発防止：周知文のポスト投函。 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>

外部情報	長山係長	<p>日時：令和4年3月7日 場所：多摩市■■■■■ 相手：■■■■■ 内容：駐車場の土間にシミ 対応：施工業者に確認をとったところ、施工上の問題ではなくC号棟駐車場付近は地下水位が高かったのか湿っぽい状態が続いていた、との事が確認できており、原因が地中の水とするならば、土間コンクリートを再度作り直しやインターロッキングをブロックにて作り直す施工をしても、現状と同じような状態になってしまう可能性が高く、現状の土間コンクリートにセメント系の塗装を施すが最も良い方法と提案を頂いており、■■■■■に説明。→土間コンクリートにセメント系の塗装予定。（施工不良などではないが新築であり周りの号棟と同じように綺麗な状態にするため当社負担で塗装） 再発防止： 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：</p>
外部情報	小野課長	<p>日時：令和4年3月8日 場所：日野市■■■■■ 相手：■■■■■ 内容：1階バットレス板金、屋上パラペット板金 通気不良による壁内結露 対応：板金とサイディングの通気用の隙間にシーリングをしていたため、通気が止まっている状態で、塗り替えをしたため暖気がまったく外部に出なくなったため、結露、腐食、サイディング塗装の剥離が発生。通気用の隙間を確保するために板金部の修繕工事のみ行う予定 再発防止：住宅の基本性能、必要な施工を新規建物へ反映 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>
外部情報	高野係長	<p>日時：令和4年4月9日 場所：杉並区■■■■■ 相手：南側隣接地2階入居者 内容：解体作業中に養生シート隙間からガラが飛びガラスにひびが入る。 対応：南側隣接地所有者と解体業者と現地で打合せをし解体業者の費用負担でガラスを交換することとなる。また、養生シートを一段高くし二次災害を防ぐように対応する。 再発防止：解体終了するまでは養生シートを極力取らずに解体を行っていたくようにする。 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>

外部情報	芦田部長	<p>日時：令和4年4月19日 場所：[REDACTED] 相手：[REDACTED] [REDACTED]（管理会社 物件担当者）</p> <p>内容：平成16年3月末竣工（築18年）の分譲マンションの2階住戸において断熱材が施工されていない部分があることが判明した（住戸不詳） 経緯としては当該住戸で天井から雨漏りと思われる現象が起きた際に、天井裏を調査したところ、雨漏りではなく断熱材が施工されていない事に起因した結露によるものだったことが判明した所有者としては、購入時に断熱材が施工されていると説明を受けていたが実際は施工されていないため、保証期間は過ぎているが今後当社に対し要望を出す際の窓口を教えてくださいと管理会社経由で連絡があった。</p> <p>対応：当方から所有者へ連絡する旨伝える管理会社から所有者へ連絡し、当社に対し所有者名や部屋番号を伝えることについて承諾を得た上で改めて連絡をいただくこととなった。 また保証期間は過ぎているものの、事実確認を行うとともに対応方法を社内及び関係各社と協議しつつ所有者とも協議を行っていく</p> <p>再発防止： 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：</p>
外部情報	渡辺主任	<p>日時：令和4年5月7日 場所：武蔵野市 [REDACTED] 相手：[REDACTED]（南西側隣接地）</p> <p>内容：[REDACTED]の万年塀を工事する為、施工+業者が[REDACTED]宅へご挨拶へ行っていたところ、本日より工事をする事を聞いていない事、[REDACTED]と施工業者との工事内容の食い違いがある事がわかりました。</p> <p>対応：一次対応として渡辺主任が[REDACTED]宅へ訪問し謝罪と確認をおこなう。久原様としては・当社担当者へ工事の工程表の提出をお願いしていたが、まだ連絡ない。・工事開始の連絡も無く、勝手に[REDACTED]の敷地内に入り工事を始めた。 13日工程表をもつて訪問。 17日より工事開始するとのことで合意を頂く。 20日工事完了。 21日に久原様と施工業者立会の元、万年塀の完了確認を行い終了。</p> <p>再発防止：工事を行う際は近隣の方と密にコミュニケーションを取る。 是正の必要性の評価：無 再発防止の有効性：有</p>

今期は外部情報 26 件、内部情報 0 件の発生数となっております。昨期、19 件に比べ今期は 26 件の発生となっております。

今期の内訳をみますと、過去弊社で分譲したお客様からの建物不具合や、経年劣化からくる情報が 9 件、解体関連が 8 件、ポストイング 4 件、賃貸関連 3 件、その他 2 件の内訳となっております。今期は 26 件と件数が多かったものの全てのクレームに関して対応が長引くことなく解決されております。

各発生件数の中でも解体工事でのクレームが昨期 3 件から今期は 8 件となり増えております。要因としては昨期より物件数が増加したことと、住宅密集地での解体が多かったことが一つの要因かと思えます。

各工事が着工する前にお客様や業者様との関係性を深め、クレームが発生しないようにできればと思っております。

また、全社や課内、プロジェクトに関わる人に対しての情報共有し、件数を減らしていきます。

今年度の「是正・予防処置報告書」作成案件は発生しませんでした。また、外部審査・内部監査からの不適合もありませんでした。今回の報告書より、「外部・内部環境情報」に上げられた情報から環境に関するものをピックアップし、報告する事に変更をいたします。それによると、解体工事に伴う振動のクレームが2件該当致しました。再発防止策は事前に近隣住民とのコミュニケーション形成に努める、振動の感じ方は人それぞれの面もある事から、クレーム発生時には、スピーディーな対応を心掛ける事を挙げています。

実施3年目となる「社内パトロール」を継続し、職場環境の改善につながる取り組みに繋げて参りました。

- ・ 駐車場に防犯カメラを設置
- ・ 炭の容器交換
- ・ 1Fトイレと奥の倉庫部分の照明器具を人感センサー付きのものに更新
- ・ 社内観葉植物（イミテーション）地下から2Fまで入替完了
- ・ 2F女子ロッカー室の畳交換
- ・ 駐車場グレーチング内の落ち葉除去
- ・ 3F給湯室とコピー室の換気扇の交換及び配線工事
- ・ 地下モデルルームの照明を清掃時・来客時以外は電気を点けない(施錠する)ことへの運用変更

パトロールの継続効果として、キャビネット上に置かれた物が減りました。これにより地震による落下のリスクが低減され怪我の防止につながります。来期も環境だけに留まらず、環境改善とコスト削減の提案を実践し、より良い職場環境を構築して参ります。

今期の一般教育では、ISO の取り組みについて周知する事に加え、そもそもなぜ ISO14001 に取り組むのかを説明し、活動の意義を改めて全体で共有できるよう図りました。また新たな項目として、今後の会社で取り組む CO2 削減計画についての説明と、SDG s について理解を深めるための説明を組み込んでいます。

一般教育の実施方法についても効率的に、なるべく一度で全員に教育を実施するために全体朝礼後にそのまま Zoom を用いてオンラインで教育を実施し、資料もペーパーレスとして印刷せずに画面共有で行い、教育終了後 Chatter でシェアしています。但しオンラインでは反応が解りづらい事もあり、次回は対面での実施に戻すことを検討いたします。

また、環境負荷低減商品の追加提案に関わる活動としては昨年に引き続き、営業開発課主催でエコ商品についての勉強会を実施しています。

内部監査教育では、BSI グループによる、内部監査のスタンダードな流れと判断基準を改めて確認する内容のものを受講しています。

教育種類	内 容	対象部門 及び対象者	実施日
従業員教育 (一般教育)	(1)環境方針の周知・徹底。環境マネジメントシステムの変更点及び、今期環境マネジメントプログラムの内容についての確認。 (2)自分の業務に関係する著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響 (3)環境パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、環境マネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献 (4)組織の順守義務を満たさないことを含む、環境マネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味 (5)前期内部監査の結果、外部審査での指摘事項などの情報共有 ※その他、内部監査・外部審査、今後の CO2 削減計画、SDG s についての説明。	アセット事業部 プロダクト事業部 管理部	(一般教育) 2021.10.7 ※一部不参加者は10月中の別日にて個別実施
内部環境 監査員教育	第三者機関による講習受講。 (ISO14001 内部監査員研修 2 日間コース)	内部監査員	2021.10.11 ~ 12
特別教育	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：EV コンセント>	アセット事業部 営業開発課	2021.7.9
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：エコカラット (浦上さん) >	アセット事業部 営業開発課	2021.7.22
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：エコカラットプラス>	アセット事業部 営業開発課	2021.11.5
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：太陽光パネル>	アセット事業部 営業開発課	2021.11.25
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：SE 構法>	アセット事業部 営業開発課	2022.5.23

環境教育訓練統括プログラム

承認	作成
環境管理責任者	管理
	

株式会社 大興ネクスタ

作成日：2021年6月21日

項目	教育名/対象者	形態	教育内容	実施方法	実施責任者	実施時期											
						7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
一般	一般教育/全員	社内教育	・今期目的・目標の理解と現状の進捗状況 ・ISOの活動として日々社内 で実施している事、会社が取 り組んでいる具体的な内容の 理解	推進メンバー・及び推進メンバ ーより依頼された各部教育担 当者による講習	管理部 吉田												
一般	内部監査員 レベルアップ教育 /内部監査員	外部 講義	監査手法と技術の向上	第三者機関等による 講習受講	管理部 吉田												
特別	環境負荷低減商品 勉強会/営業開発 課・設計課	社内 教育	環境負荷低減商品についての 勉強会を行い、情報共有、商品 知識、商品提案力向上を図る	四半期に一度実施。教育方 法は資料に基づく説明・業 者による説明等、内容に応 じてその都度決定する。	建設課 青木												

保管期間：作成日より5年

環境委員会

2021 年度

順守評価

株式会社大興ネクスタ

ISO14001事務局

順守評価

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

当社が定めた法的要求事項及び、組織が同意するその他の要求事項についての順守評価は、引き続き毎月の定例会にて確認しております。添付の資料の通り、今年度も順守に問題はありませんでした。また、環境法令を取り纏めた「法的及びその他の要求事項一覧表」は本年6月1日に改定を済ませています。

外部審査の結果を受け、環境側面を抽出し評価する際には関連する法規制についても考慮する仕組みへと改善を進めて参ります。また、緊急事態についてもより具体的な対応が可能となる様に規定等の整備を進めて参ります。

今後も情報収集に努め、漏れの無い対応を続けて参ります。

事業推進本部 2021年度 更新日: 2022/5/27
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要項事項	七入契約日	2021/7/31	2021/8/20	2021/3/30	2021/9/24	2021/9/28	2021/10/8	2021/11/30	2021/12/2	2021/12/27	2022/1/28
7	石綿含有廃棄物等処理マニュアル (第2版)	現場名 現場所 処理 該当部門	世田谷区 深沢1 無	世田谷区 杉並区 阿佐谷南1 無	世田谷区 杉上水3 無	杉並区 久我山2 無	板橋区 蓮根2 無	中野区 東中野2 無	杉並区 高円寺南4 無	中野区 本町3(底地) 無	板橋区 小茂根1 無	板橋区 小竹町2 無
8	大気汚染防止法	閉発済 建設済	該当有無 無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
9	プロン排出・抑制法	閉発済	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
10	建築基準法	届出 設計	該当有無 申請結果 無	無	有 ○	無	無	無	無	無	無	無
11	騒音規制法	届出 建設済	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

事業推進本部 2021年度 更新日: 2022/5/27
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	七入契約日		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
		処理	該当部門	2021/7/31	2021/8/20	2021/3/30	2021/9/24	2021/9/28	2021/10/8	2021/11/30	2021/12/2	2021/12/27	2022/1/28										
12 振動規制法	特定建設作業を行う場合、工事着手7日前までに届出 【特定建設作業】 1.4.1打機、小型振機又は小型くい掘機 2.掘削機等使用して遊歩する作業 3.掘削機等使用して遊歩する作業 4.レーザ（手携式のものを除く。）	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		開発課	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
13 土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設に係る工機又は事業場の敷地内にある土壌汚染の調査は、当該土壌の土壌汚染の状況について、調査主体が指定する者（指定調査機関）に調査させて、その結果を都道府県知事へ報告	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		開発課	届出 報告	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
14 景観法	条例で定める景観計画区域（0.1ha以上の区域）内外の土石、廃棄物、再生資源類等の堆積（高さ1.5m以上）を含む 知事、指定市、中核市の長への届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
15 作業所等同意するその他の要求事項	作業所等での作業は事前に通知する ・19時以後禁止 ・物産の発生防止 ・アイトリダストトップ	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		建設課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
16 都市計画法	・0.00㎡以上の敷地が開口物等の設置可能 （設置面積の制限）(300㎡～1,000㎡の範囲で定めず) ・0.00㎡以上の敷地が開口物等の設置可能 （設置面積の制限）(300㎡～800㎡の範囲で定めず) ・0.00㎡以上の敷地が開口物等の設置可能 （設置面積の制限）(300㎡以上の範囲で定めず)	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		開発課	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

事業推進本部 2021年度 更新日: 2022/5/27
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	七入契約日		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		処理	該当部門	2022/1/31	2022/2/7	2022/2/28	2022/3/2	2022/3/31	2022/4/21	2022/5/10	2022/5/27		
			現場名	武蔵野市 吉祥寺南町1	無	無	無	無	無	無	無	無	
1	(1)事業活動に伴い生じた廃棄物を自らの責任で適正処理、または文書で廃棄物処理業の許可を有する処理業者に委託する(マニフェスト)制度のとりまわし (2)産業廃棄物処理業(マニフェスト)制度のとりまわし 抽出事業者が最終処分場まで搬送することを確認する。	無	建設課	有	有	有	有	有	有	有	有	有	
2	廃棄物処理法	建設課	建設課	有	有	有	有	有	有	有	有	有	
3	労働安全衛生法	建設課	建設課	有	有	有	有	有	有	有	有	有	
4	建設リサイクル法	建設課	建設課	有	有	有	有	有	有	有	有	有	
5	電気リサイクル法	建設課	建設課	有	有	有	有	有	有	有	有	有	
6	建設廃棄物処理指針	建設課	建設課	有	有	有	有	有	有	有	有	有	

事業推進本部 2021年度 更新日: 2022/5/27
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	七入契約日		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		処理	該当部門	2022/1/31	2022/2/7	2022/2/28	2022/3/2	2022/3/31	2022/4/21	2022/5/10	2022/5/27		
7 石綿含有廃棄物等処理マニユアル(第2版)	瑞穂県及び川田町。あらかじめ、国産化、薬剤による安定化その他のこれによる取替を講じた後、耐水性材料で2重にこん包。	閉鎖済	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無		
		建設済	処置内容										
8 大気汚染防止法	特定物質排出等作業を行う場合、工事着手14日前に知事への届出要。(特定物質)政府右欄アへ、スト以外(右欄を含有する樹液材保運材及び耐火被覆材)の場合も施工面積に問わず全て該当	閉鎖済	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無		
		建設済	処置内容										
9 プロン排出・抑制法	自動車のカーエアゴンドラ、燃料汚染空気を吸塵として使用されるフロンが冷却、ユーザー、フロン回収業者、設置業者の役割分担により適切にフロン類の回収・処理を進めていく必要がある。	閉鎖済	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無		
		建設済	処置内容										
10 建築基準法	居室を有する建築物は、その居室内において取手で受ける化学物質の放射による衛生上の支障がないこと、建築材料及び電気設備について取等で定める技術的基準に適合するものとしなければならない。	設計	該当有無	有									
		設計	申請結果	○									
		設計	該当有無	有									
		建設済	検査結果	○									
11 騒音規制法	特定製作業を行う場合、工事着手7日前迄に届出	閉鎖済	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無		
		建設済	処置内容										

事業推進本部 2021年度 更新日: 2022/5/27
順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	七入契約日		12		13		14		15		16		17		18		19		20	
		処理	該当部門	現場名	2022/1/31	2022/2/7	2022/2/28	2022/3/2	2022/3/31	2022/4/21	2022/5/10	2022/5/27	16	17	18	19	20				
12 振動規制法	特定建設作業を行う場合、工事着手7日前までに届出 【特定建設作業】 1.4.1打機、小型振機又は小型くい掘機 2.掘削機等を使用して遊歩する作業 3.掘削機等使用 4.ブローガー(手筒式のものを除く。)	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		閉発誤	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
13 土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設に係る工事又は事業の所生汚濁は当該土地の土壌汚染の状況について、環境大臣が指定する者(指定調査機関)に調査させて、その結果を都道府県知事へ報告	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		閉発誤	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
14 景観法	条例で定める景観計画区域(0.1ha以上の区域)内以外の土石、廃棄物、再生資源類等の堆積(高さ1.5m以上)を含む 知事、指定市、中核市長への届出	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		閉発誤	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
15 作業所等同意するその他の要求事項	・作業所等での作業は事前に通知する ・19時以後禁止 ・物産の発生防止 ・アイトリングストップ	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		閉発誤	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
16 都市計画法	・0.00㎡以上の敷地が各口物産の許可 可 ・(3)遊歩場の面積(500㎡)→1,000㎡の範囲で可 ・0.000㎡以上の面積が各口物産の許可 可 ・(5)50㎡以上の面積が各口物産の許可 可 ・3,000㎡～80,000㎡の面積が各口物産の許可 可 ・0.05%以上の公設 緑地(4.5%以上の面積が公設)	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		閉発誤	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

【建設課】電子マニフェスト（栴環和）2021.04～2022.03

マニフェスト番号	排出日時	状態	排出廃棄物	排出	単位	排出事業場
14779954208	2022/03/16 10:12	完了	陶磁器くず	0.1	m ³	川崎市
14779951722	2022/03/16 10:12	完了	紙くず	0.6	m ³	川崎市
14779954185	2022/03/16 10:12	完了	木くず	0.5	m ³	川崎市
14779954152	2022/03/16 10:12	完了	廃石膏ボード	0.3	m ³	川崎市
14779951698	2022/03/16 10:12	完了	廃プラスチック類	1.5	m ³	川崎市
14723339068	2022/02/16 17:17	完了	陶磁器くず	0.8	m ³	川崎市
14723339013	2022/02/16 17:17	完了	廃石膏ボード	1.7	m ³	川崎市
14723339428	2022/02/16 17:17	完了	管理型建設混合廃棄物	3.1	m ³	川崎市
14723338371	2022/02/16 17:17	完了	木くず	0.7	m ³	川崎市
14723338360	2022/02/16 17:17	完了	紙くず	1.2	m ³	川崎市
14683696823	2022/01/25 12:20	完了	廃プラスチック類	1	m ³	川崎市
14683696788	2022/01/25 12:20	完了	陶磁器くず	0.5	m ³	川崎市
14683696777	2022/01/25 12:20	完了	廃石膏ボード	0.5	m ³	川崎市
14683695844	2022/01/25 12:20	完了	木くず	1	m ³	川崎市
14683696766	2022/01/25 12:20	完了	紙くず	1	m ³	川崎市
14675972517	2022/01/19 12:22	完了	木くず	1	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14675972472	2022/01/19 12:22	完了	廃プラスチック類	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14675970290	2022/01/19 12:22	完了	紙くず	4	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14667892755	2021/12/29 09:14	完了	紙くず	1	m ³	川崎市
14667892733	2021/12/29 09:14	完了	木くず	2.5	m ³	川崎市
14667900205	2021/12/29 09:14	完了	廃プラスチック類	2	m ³	川崎市
14658958129	2021/12/28 16:09	完了	管理型建設混合廃棄物	4.7	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14658960447	2021/12/28 16:09	完了	陶磁器くず	0.3	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14658960425	2021/12/28 16:09	完了	木くず	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14658958118	2021/12/28 16:09	完了	紙くず	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14650265560	2021/12/10 16:23	完了	廃石膏ボード	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14650265548	2021/12/10 16:23	完了	管理型建設混合廃棄物	4	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14650265526	2021/12/10 16:23	完了	木くず	1.5	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14650265515	2021/12/10 16:23	完了	紙くず	0.5	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14632184661	2021/12/03 14:58	完了	陶磁器くず	1.5	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14632184649	2021/12/03 14:58	完了	廃石膏ボード	1.5	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14632186898	2021/12/03 14:58	完了	管理型建設混合廃棄物	2.8	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14632186179	2021/12/03 14:58	完了	木くず	0.5	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14632184627	2021/12/03 14:58	完了	紙くず	1	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14632186157	2021/12/03 14:58	完了	廃プラスチック類	0.7	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14628096905	2021/11/29 10:12	完了	陶磁器くず	3	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14628096882	2021/11/29 10:12	完了	廃石膏ボード	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14628096859	2021/11/29 10:12	完了	管理型建設混合廃棄物	1	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14628096837	2021/11/29 10:12	完了	木くず	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14628096916	2021/11/29 10:12	完了	紙くず	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14621844673	2021/11/23 12:55	完了	紙くず	0.5	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14621844651	2021/11/23 12:55	完了	管理型建設混合廃棄物	2.5	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14621844640	2021/11/23 12:55	完了	木くず	1	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14621848565	2021/11/23 12:55	完了	廃石膏ボード	2	m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場

14621844730	2021/11/23 12:55	完了	陶磁器くず	3 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14613825178	2021/11/12 14:04	完了	陶磁器くず	1.2 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14613825190	2021/11/12 14:04	完了	廃石膏ボード	1.3 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14613824986	2021/11/12 14:04	完了	管理型建設混合廃棄物	2.5 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14613825123	2021/11/12 14:04	完了	木くず	2.5 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14613824920	2021/11/12 14:04	完了	紙くず	0.5 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14602452059	2021/11/05 09:13	完了	管理型建設混合廃棄物	0.7 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14602449369	2021/11/05 09:13	完了	廃石膏ボード	0.8 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14602449358	2021/11/05 09:13	完了	紙くず	1.5 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14602452026	2021/11/05 09:13	完了	木くず	2 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14597673686	2021/10/30 19:10	ロック	廃石膏ボード	1.5 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14597673675	2021/10/30 19:10	ロック	管理型建設混合廃棄物	3 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14597673664	2021/10/30 19:10	ロック	木くず	1.5 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14597673776	2021/10/30 19:10	ロック	紙くず	0.5 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14593559180	2021/10/25 12:46	ロック	紙くず	1 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14593554310	2021/10/25 12:46	ロック	木くず	3 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14593560025	2021/10/25 12:46	ロック	廃プラスチック類	3 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14584024615	2021/10/18 18:01	ロック	紙くず	1 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14584024604	2021/10/18 18:01	ロック	廃プラスチック類	3 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14584024592	2021/10/18 18:01	ロック	木くず	2 m ³	世田谷区桜上水3丁目 4棟現場
14407264952	2021/04/14 09:32	ロック	木くず	0.5 m ³	川崎市 [REDACTED]
14407266291	2021/04/14 09:32	ロック	廃プラスチック類	1 m ³	川崎市 [REDACTED]
14401933500	2021/04/09 12:09	ロック	管理型建設混合廃棄物	3 m ³	世田谷区奥沢1丁目1棟現場 A号棟
14401933498	2021/04/09 12:09	ロック	木くず	1 m ³	世田谷区奥沢1丁目1棟現場 A号棟
14401933588	2021/04/09 12:09	ロック	紙くず	3 m ³	世田谷区奥沢1丁目1棟現場 A号棟

【検査課】 マニフェスト伝票管理表 2021.04～2022.03

No.	排出現場名	排 出 担当者	排 出 日	D票回収期限			E票回収期限			八栄 FAX 送信
				法:90日 社内基準:80日 票内回収目安:70日	D票 回収日	回収 日数	法:180日 社内基準:180日 票内回収目安:170日	E票 回収日	回収 日数	
37396704870	会社倉庫(南荻窪1丁目、中落合3丁目リフォ	小野	2021/04/27	2021/7/6	5/27	31	2021/10/14	5/27	31	-
37405034472	会社倉庫	長島	2021/05/12	2021/7/21	5/27	16	2021/10/29	6/17	37	-
37404994561	会社倉庫	長島	2021/06/17	2021/8/26	7/16	30	2021/12/4	7/16	30	-
37404918806	会社倉庫	長島	2021/06/29	2021/9/7	7/16	18	2021/12/16	8/21	54	-
37404918202	吉祥寺 [] リフォーム	長島	2021/07/02	2021/9/10	7/16	15	2021/12/19	8/21	51	-
37404985704	吉祥寺 [] リフォーム	長島	2021/07/05	2021/9/13	7/16	12	2021/12/22	8/21	48	-
37407754521	会社倉庫	長島	2021/07/28	2021/10/6	8/21	25	2022/1/14	9/21	56	-
37407618043	会社倉庫	小野	2021/09/13	2021/11/22	10/20	38	2022/3/2	10/20	38	-
37412963453	[]	熊谷	2021/09/24	2021/12/3	10/20	27	2022/3/13	10/20	27	-
37413031541	会社倉庫	小野	2021/10/11	2021/12/20	10/20	10	2022/3/30	11/19	40	-
37412835025	中野区 [] リフォーム	小野	2021/10/20	2021/12/29	11/19	31	2022/4/8	11/19	31	-
37412837372	会社倉庫	小野	2021/10/22	2021/12/31	11/19	29	2022/4/10	11/19	29	-
37412741881	会社倉庫	長島	2021/11/02	2022/1/11	11/19	18	2022/4/21	12/22	51	-
37412834804	中野区 [] リフォーム	小野	2021/11/18	2022/1/27	12/22	35	2022/5/7	12/22	35	-
37417546961	会社倉庫	小野	2021/12/10	2022/2/18	12/22	13	2022/5/29	1/19	41	-
37417546563	会社倉庫	小野	2021/12/15	2022/2/23	12/22	8	2022/6/3	1/19	36	-
37417549536	会社倉庫	小野	2021/12/23	2022/3/3	1/19	28	2022/6/11	2/15	55	-
37417549610	会社倉庫	長島	2021/12/23	2022/3/3	1/19	28	2022/6/11	1/19	28	-
37417369651	会社倉庫	小野	2022/02/03	2022/4/14	2/15	13	2022/7/23	3/22	48	-
37423525451	会社倉庫	長島	2022/02/21	2022/5/2	3/22	30	2022/8/10	3/22	30	-
37423525366	練馬区 []	小野	2022/02/21	2022/5/2	3/22	30	2022/8/10	3/22	30	-

ISO14001 本社業務 順守評価表

対象期間 2021年7月1日～2022年6月30日

更新日 2022/6/16

法規名	要求事項	項目	搬出日	回収業者	処分業者	A票	D票		
廃棄物処理法	当社地下に備付の排水槽に溜まる汚泥を一般廃棄物として適正に処分を行う。		2021.12.7	東和興業株式会社	株式会社京葉興業 株式会社太陽油化	あり 50kg	あり 50kg		
法規名	要求事項	項目	搬出日	回収業者	処分業者	A票	D票		
水銀廃棄物ガイドライン (平成29年6月)	・「水銀使用製品産業廃棄物」の収集運搬又は処分の許可を受けた事業者 に委託する。 ・水銀回収が義務付けられているもの の処理を委託する場合は、水銀回収 が可能な事業者 に委託すること。								
法規名	要求事項	項目	1	2	3	4	5	6	7
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出の際は、小売店へ料金を支払引き渡す、または自治体指定の方法で引取り依頼する。 【特定家庭用機器】 テレビ(液晶・プラズマ含)、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機	排出日付							
		対象物							
		処分方法							
		回収店舗 処分業者							
		証拠書類有無 有の場合は書類 番号							
法規名	要求事項	項目	1	2	3	4	5	6	7
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器の排出の際は、関町リサイクルセンターに設置されている小型家電回収ボックスに入れる。 産廃と共に排出する場合は、認定事業者へ排出し、マニフェストの管理を行う。 【使用済み小型電子機器】 *練馬区定め9品目 ①携帯電話②携帯音楽プレーヤー③携帯ゲーム機④デジタルカメラ⑤ポータブルビデオカメラ⑥ポータブルカーナビ⑦電子辞書⑧卓上計算機⑨ACアダプター	排出日付	2021.7.20						
		対象物	電卓×1						
		処分方法	関町リサイクルセンター 小型家電回収ボックス に廃棄						
		処分業者	無し						
		証拠書類有無 有の場合は書類 番号	無し						

法規名	要求事項	項目	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期		
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	点検目安	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月		
		点検日付	2021/9/17	2021/12/16	2022/3/10	2022/5/27		
		室外機の異常振動・異常運転音状況	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
		室外機及び周辺の油のにじみ	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
		室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
		室内機の熱交換器の霜付きの有無	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
	定期点検の実施 (3年に1度)	点検目安	次回 2021.4から2024.3に実施					
		点検日付	2022/6/16					
		点検業者名	新菱冷熱工業株式会社					
		異常の有無(記録有)	無し					
		異常時の処置内容	無し					
		フロン類の漏洩量の算定結果(記録有)	無し					
		フロン類の回収量と充てん量(記録有)	無し					
		フロン類の漏洩量の算定結果(記録有)	無し					
	平常運転時の異常等への対応	対応日						
		異常等の内容						
		処置内容						
		フロン類の回収量と充てん量						
		フロン類充填日						
		フロン類の漏洩量の算定結果						
	機器入替時の対応	入替日時						
		処置内容						
		フロン類の種類・回収量と充てん量						
		フロン類充填日						
法規名	要求事項	項目	1	2				
消防法	本社屋消防用設備等(特殊消防用設備等)の点検実施 消防法第17条3の3	実施日	2021.10.14	2022.4.27				
		対象期間	半年	半年				
		点検受託者	ナカムラ防災(株)	ナカムラ防災(株)				
		消火器具点検結果 良・不良	良	良				
		誘導灯及び誘導灯標識点検結果 良・不良	良	良				

環境委員会
2021 年度

前回のマネジメントレビューに対する 改善状況の報告

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

2020年度環境委員会議事録

2021 / 6 / 25

会議の種類 ISO14001 環境委員会

日時 2021年6月25日(金) 10:00～11:20

場所 本社ビル 地下打合せスペース (12名)

出席者 今井会長、菅野社長、今井副社長、川本常務

(監査チーム) 金丸部長

(推進メンバー) 吉田課長、青木係長、太田、佐藤、岡田

(環境管理責任者) 町田常務、(事務局長) 渋谷

欠席者

参考資料 2020年度環境委員会報告書

議事内容

1. 環境活動報告

①住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動 (報告者: 岡田・青木係長)

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
金丸部長	営業課の各担当者がエコ商品について調べて勉強会を行うことは非常に良い取り組みだと思いました。営業課だけでなく、社内全員で取り組めるとさらによいと思いました。	外部審査でも、エコポイントを導入した目標管理は高い評価をいただいています。

②社内における電気の省エネ活動 (報告者: 吉田課長)

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

③運転方法の注意喚起・車両取扱いの改善による燃費の向上 (報告者: 吉田課長)

- ・活動実績、来期の目的・目標を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

2. 内部監査結果の評価 (報告者: 内部環境監査員 金丸部長)

- ・内部監査結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

3. 記録類の評価

①外部・内部環境情報（報告者：佐藤）

- ・外部・内部環境情報の集計結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

②是正予防処置報告書（報告者：町田常務）

- ・是正予防処置報告書の集計結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
今井会長	各フロアに炭を置いています、空気の洗浄や脱臭に効果があると思いますので、洗って干すか、新しいものを購入して入れ替えを行った方がよいと思います。	承知いたしました。 新しいものをご購入いたします。
今井会長	駐車場入口のマットですが、汚れていることが多いです。なるべくそうならないように、新しいものに替えて汚れが目立たないようにしてください。	承知いたしました。 現在使用しているマットは古いので、新しいものをご購入いたします。

③環境教育訓練実施記録（報告者：吉田課長）

- ・環境教育訓練実施記録として提出された記録をもとに報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

4. 順守評価（報告者：環境管理責任者 町田常務）

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

5. 前回のマネージメントレビューに対する改善状況の報告（報告者：環境管理責任者 町田常務）

- ・前回のレビューインプットに対するレビューアウトプットを報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
2019年度 菅野社長	建物の室温に与える影響が一番大きいのは窓だと思いますので、本社の窓に断熱・遮熱フィルムを貼るといのはどうでしょうか？	現在、暗くならず、遮熱効果の高いブラインドを検討しております。
2019年度 今井副社長	電気自動車を社有車に取り入れてみてはいかがでしょうか？	本社に太陽光発電システムを搭載する予定ですので、相性の良い電気自動車の導入も前向きに検討いたします。

6. 環境の変化に関する情報及び改善の為の提案（報告者:環境管理責任者 町田常務）

- ・環境の変化に対する評価を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
今井会長	SDGsは、社内でも知らない方もいるのではないかと 思いますので、SDGsについて社内に発信するな ど、浸透させていくとよいと思います。	承知いたしました。 エコドライブの標語のような形で発 信していきたいと思います。
今井会長	NHK の報道番組で、エアバスターについての特集 をやっていました。なかなか換気のできない場所 や、人が多く集まる場所に効用があるとの事でし た。 社内のエアバスターはスイッチが入っていないこと が多く見受けられますので、気づいたらスイッチを 入れ、できるだけ活用してください。	承知いたしました。

7. 外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待（報告者:環境管理責任者 町田常務）

- ・外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待について環境委員会にて検討。
- ・質問内容は特になし。
- ・改めて「状況分析シート」をお配りし、ご確認をいただきます。

8. 環境方針の見直し

- ・環境方針の見直しについて確認。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
川本常務	SE 構法・長期優良住宅を 2 大要素として取り組ん でいますが、その後の維持管理や検査方法があい まいになっています。大手ハウスメーカーではどの ように検査フォローを行っているのか調べます。	今後会社として決定していく内容 である。

9. 総評及び指示

《川本常務より》

いつも ISO に取り組んでいただき感謝しています。営業課としては、環境に優しい商品を提案できるように、まずは建築棟数を増やしていきたいと思います。

《今井副社長より》

昨年の電気自動車の話ですが、太陽光発電システムも搭載されることですので、社有車としてぜひ 1 台、何とか導入していただきたいです。費用はかかるとは思いますが、CO2 も全世界的に削減しないといけない時代ですので、挑戦していただきたいと思います。

社内パトロール、毎月お疲れさまです。机が汚いという指摘が多いかと思しますので、その方と一緒にパトロールを回るとよいのではないかと思います。

いずれは近隣の防災拠点となれるように少しずつ備えを厚くするという町田常務のお話ですが、心掛けることはとても素晴らしいことだと思いました。

《今井会長より》

最近、PM 課のお客様に、大興ネクスタは地元に貢献していないと言われてショックを受けています。少なくとも会社周辺の掃除や、防災面等、協力することは必要であると思いました。

SDG s のためにも、ISO の取り組みは大変必要なものと考えます。ISO の理念を理解して業務改善に繋げて欲しいと思います。

環境の変化に関する情報及び 改善の為の提案

環境の変化に関する情報及び改善の為の提案

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

当社の環境マネジメントシステムの有効性を確実にし、継続的改善によりそれを維持する為に必要な環境の変化に関する情報とそれに対する対応や取組みを以下に報告します。

今後、当社の事業活動及び環境管理活動に影響を及ぼす情報を内部と外部に分類し、取組予定と共に記します。

1. 内部環境

当年度の ISO の取組みについても、過年度から引き続いて経営規模に応じた身の丈に合う運用をして参りました。過去続けてきた推進メンバーの入替は、11月より管理部の横尾さんがメンバーに加わり ISO を経験する仲間が1人増えました。今後も継続して社内への浸透を目的としたメンバーの入替を実施して参ります。また分かり易い「環境管理マニュアル」の構築については、更新したマニュアルで外部審査を受け、多数の「改善の機会」を頂戴しました。その内容を来期以降に組み込み更新を掛ける事により、更に進化したマニュアルへと更新して参ります。

外部審査機関「BSI グループジャパン」にて（2021年10月13-15日）外部環境審査を実施していただきました。今回の審査は、3年に一度の再認証審査として実施されました。審査の結果は、「改善の機会」8件、「推奨事項」2件、「Good Point」1件を頂戴し、「不適合」はありませんでした。なお今回の審査も昨年に引き続きリモートにて実施いたしましたが、特に問題もなく滞りなく実施する事が出来ました。審査での指摘の内容ですが、概ね以下の2点に集約されています。まず一点目は「不適合発生時のフォロー」についてでした。これは、不適合事項への対応は応急処置と是正処置、再発防止策及びその施策の評価と内容によって処置の段階があるのですが、そもそも、その切り分けが出来ていない事によるご指摘でした。そして「内部・外部環境情報」では、外部クレームについて取り纏めています。その中で環境由来のものについては、不適合事項の一部として取り扱うように指導いただいております。こちらは、マニュアルの加筆・修正で対応をいたします。二点目は、「環境影響評価表の充実」でした。影響評価は漏れなく実施しておりますが、その評価に関連する法規制を加えるように指導いただいております。こちらは、「環境影響評価表」の修正をする・関連諸表を絡めて改訂をするかについて検討して参ります。これからも指導内容を素直に受け止め、更なる改善に繋げて参ります。

最後に、3期目となった「社内パトロール」は、パトロールする方をローテーションで指名している事が功を奏し、社内環境整備への意識が醸成しつつあると実感しています。並行して今期から導入された「DAN・SHA・RI」活動も、身の回りの整理整頓のほか、社内の状況への関心を増す良い施策となり、様々なコミュニケーションが創出されています。社内風土をより良くするために、ISOを通じて社内環境も含めた環境整備を進めて参ります。今までと変わらず、地道な活動を継続して行く事で理解と浸透に努めて参ります。

2. 外部環境

本年度の大きなトピックは2つありました。一つ目は、3年目に突入した「新型コロナウイルス感染症」です。コロナウイルスについては、期末を迎えた今では終息傾向となりましたが、年明け早々は東京都で連日1万人以上が感染する状況でした。今も楽観視はできませんが、過去の知見を基とする予測では、今後はより弱毒化し医療機関の負荷も低減される見込みで、様々な活動を再開し進めて参ります。二つ目は2月に勃発したロシアのウクライナへの軍事侵攻です。その3か月前の昨年11月にCOP26で石炭火力発電の縮小が採択されました。まさに各国が脱炭素対策として自然由来のエネルギーに移行するステップとしてCO₂排出量の少ない天然ガスへの転換を図る最中で軍事侵攻が起きました。ロシアは天然ガスや木材、ウクライナも農産品などの輸出大国でエネルギーや食糧といった人々の生活の基盤となる物資の供給元であることから、エネルギー価格の高騰に多大な影響を与えています。これによって今後の天然ガスへの対策も不透明感が漂い、各国は国内を重視する内向き政策に転換しつつあります。これにより地球温暖化対策の根幹的施策である自然由来のエネルギー開発進展に影響がでるとの予測が出ており、一時的に停滞局面になるとの予想があります。ただ、環境ビジネスの市場規模は2018年で62兆円に達し、2050年には135兆円規模と大幅に伸長する見込みであり、今後より一層の技術革新や新たな知恵が力強く出てくるものと思います。特に日本は、エネルギーも食料も自給率が低く、更に夏には電力供給不足が予想されている状況なので、行政が一段の対策を講じる事が予想されます。若干話はそれですが、当社は新電力のHIS電気より電気を購入していました。採算環境の悪化はそれ以前からあったのですが、ロシアの軍事侵攻がとどめとなり、HIS電気が電力ビジネスから撤退しました。存続している新電力も売れば赤字の状況の為、事業系の新規募集を取り止めています。それにより電力調達先が東京電力に戻る事となりました。この一連の流れによって、16千円/月程の料金値上げとなりますが、太陽光パネルが電力使用量の平均20%程度、金額で約20千円の電力購入費削減に貢献していますので影響は吸収されました。こう言ったことを踏まえると、我々も省エネだけでなく、創エネに貢献する事も検討するべきと考えます。自社のエネルギーを外部に頼ることなく可能な限り自立する事が出来れば環境への負荷を軽減し、大きな社会貢献となります。特に災害時のエネルギー調達、早期復旧に努めた体制構築には多大な貢献が見込まれます。実は、国内の中小企業の80%が脱炭素への取り組みをしていないのが現状で、我々が存在価値を示す環境が整っているものと考えられます。様々な補助金が導入され、開発されていることも、背中を押してくれる良い環境ですので、よく吟味し活用する事は、投資回収の早期化につながり、より思い切った投資が可能となります。会社全体の動きを睨みながら積極的な投資を継続して行い、会社イメージの向上、企業価値の向上に努めて参ります。

大企業ではサプライチェーンへの脱炭素要請が進んでいます。大手企業はScope 3（流通の中でのCO₂削減）への取り組みが必須となり、大和ハウス工業では、90%以上の協力業者へ排出量の削減目標設定を求めています。削減目標を建てるということは、現状の排出量を把握出来ている前提でしょうから大変な負担になっていると思います。当社でもScope 1・Scope 2は把握していますが、Scope 3については一切確認をしていません。当社で当てはめるとScope 1は、ガソリンの消費、Scope 2は、電気の利用、ガスの利用となります。これをウォッチし、太陽光パネルの設置とEV車導入を進める事で当社の排出量削減に繋げてゆ

きます。前述の通り EV シフトによるエネルギー削減を進めて行きますが、その先には、水素エネルギーを活用した燃料電池自動車へのシフトもタイミングを見て取り組みます。水素エネルギーは水素生成時に CO2 を発生させる事と掛かるコストが課題となっていますが、日本は世界のトップランナーとしてこの課題を可決すべく取り組んでいます。我々も消費を通じてこの活動に参加して行きたいと考えています。最近、苔の活用が CO2 吸収の観点から見込まれています。水が無く乾燥しても 5 カ月生きられる、土が無くても生育可能で、軽く、生命力の強さがあり、太陽光パネルの空白地を屋上緑化する事も検討できるかもしれません。

一年前の活動報告では、災害から従業員を守る基本的な体制が整備されつつあると申し上げ、近隣の防災拠点となり得るように備えを厚くすると将来への展望をお話しさせていただきました。その後の大きな進展はございません。今期は、備蓄品を 3 日分から 7 日分へと保管場所の確保も含め進めて行きます。

最後に、SDGs についてです。取組を進める中から、HP 及びパンフレットを作成し、外部への発信素材を作成いたしました。今年の 5 月に日本政策金融公庫に来社頂きお話をする中で、新しい会社案内と SDGs パンフレットの説明もさせていただきました。今後の EV・V2H (V2H=車から家へ電力を供給するシステム) の展開もお話ししたところ、「環境投資への融資をさせて欲しい」との要請を頂きました。来期以降になる予定ですが、運転資金という形で、融資が実行される見込みです。取り組みを形として表現したことによって新たな展開へと繋がることを改めて学び、実感しました。

以上

外部及び内部の課題 利害関係者のニーズ及び期待

7

外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待

「外部及び内部の課題」、「利害関係者のニーズ及び期待」につきましては、下記「状況分析シート」にまとめております。また、事業活動や環境側面に伴う環境影響を決定、「環境影響評価表」に示し、今期の取組みを決定しております。

状況分析シート

2022年6月10日

当社の状況	外部課題	内部課題	順守義務	環境側面	利害関係者	利害関係者のニーズ及び期待	リスクまたは機会		取組検討項目 ◎・・・今期目標
							リスク	機会	
人材の不足・社員の高齢化 若手の育成・力量の不足	○	○			従業員	・良好な職場環境 ・納得感のある評価体系 ・若手の採用	ノウハウ、技術の伝承が途絶える・会社の存続が危うい・マネジメント力の弱体化	高い経験値を伝える余地があり、若い方の成長機会がとれる	・教育制度の構築
低炭素社会への適応(重要度UP)	○	○	○	○	顧客	・省エネルギー住宅 ・資産価値の高い住宅	時流に乗り遅れる	ガソリン・電気・省エネコスト削減	◎OB顧客への省エネ商品リフォーム推進 ◎電気使用量のウォッチ ◎環境負荷を抑制する商品の採用と勉強会 ◎グリーン商品購入の推進 ・燃費改善策の実施 ・電子公告の強化(ホームページ・SNS・YouTubeなど)
現場近隣住民からの苦情(テレワーク増加による) OB顧客からの不具合	○	○	○	○	近隣住民(会社・現場)	・良好なコミュニティ形成 ・地域貢献 ・環境保全(大気汚染・土壌汚染・振動・粉塵等) ・良好な街づくり	地域住民からの苦情によるイメージダウン	更なる品質向上改善が見込める・接触機会が増える	・部門間フィードバックの実施と改善 ・クレームの全社共有 ・建築現場の社内検査実施 ・建物完成時に改善を含めた社内内覧会実施
注文住宅市場での競合との競争激化 集客不足	○	○			協力業者 従業員	安定した発注量	受注高の減少	他社との差別化	◎『SE構法』の採用による、環境負荷低減 ◎環境負荷を抑制する商品の採用と勉強会 ・ブランディング、セールスマーケティング活動の強化
建築費の高騰 職人の不足	○	○			協力業者	・相互便益 ・関係性の継続 ・労働環境の安全と衛生	収益悪化・利益減少 技術の伝承が途絶える 工期遅延・職人の取合い	付加価値の開発	・取引条件の見直し ・建築業界におけるネットワーク強化、職人数の確保策 ・魅力ある建物のプランニング強化
リサイクルの推進		○		○	社会	・環境保護		資源の有効活用によるコスト削減・会社のイメージアップ	◎グリーン商品購入の推進 ・裏紙の活用 ・産業廃棄物の抑制 ・リサイクル活動の推進

<管 理 部>

環 境 影 響 評 価 表

良い影響・・・○(1点) 悪い影響・・・●(2点)

インプット または アウトプット	活 動				発生量 又は 貯蔵量	環 境 影 響								評 価			判 定		
	環境側面	設備又は作業	定常時 非定常時 緊急時	直接 間接		人の健康	公害（騒音・悪臭・振動）	地盤沈下	地下水・土壌汚染	大気汚染	水質汚染	廃棄物処分場の圧迫	地球温暖化	他の地球環境問題（森林資源・有害物）	資源の枯渇	影響の評価点（合算） 良い影響：○（1点）悪い影響：●（2点）	影響の結果の重大性（高・低）	影響の発生の可能性（大・小）	登録（環境目標）
インプット	電気の使用	照明器具の使用	定常時	直接	月85.4kwh/人				●			●	●	6	低	大	◎		
		OA機器の使用	定常時	直接					●			●	●	6	低	大	◎		
		冷暖房の使用	定常時	直接					●			●	●	6	低	大	◎		
	ガスの使用	冷暖房・給湯器の使用	定常時	直接	月14.3m ³ /人				●			●	●	6	低	大		○	
	紙の使用	コピーの使用	定常時	直接	月2.1kg/人							●	●	4	低	大		○	
	裏紙の利用	裏紙の利用	定常時	直接								○	○	2	低	大		○	
	ガソリンの使用	社有車の使用	定常時	直接	月135.08ℓ/人	●	●		●			●	●	10	高	大		○	
	水の使用	洗い場・トイレの使用	定常時	直接	月0.34m ³ /人					●				2	低	大		○	
	エコ商品の導入	本社事務商品・消耗品などの購入	定常時	直接	使用率50.93%						○	○	○	○	4	低	小	◎	
	緑の保全活動	練馬みどりの葉っぱい基金へ寄付	定常時	間接	85,000円/年	○		○	○	○		○	○	6	低	小			
アウトプット	可燃ゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	月54.2kg	●			●			●		6	低	大		○	
	プラリサイクルゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	月6.3kg								●	2	低	大		○	
	不燃ゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	月3.0m ³								●	2	低	小		○	
	排気ガスの発生	社有車の使用	定常時	直接	313.65 kg-co2/ℓ	●	●		●			●	●	10	高	大		○	
	トイレ・汚水槽汚泥の発生	業者による回収	定常時	直接	年50kg	●	●							4	低	小			
	フロンの発生	冷暖房の故障により発生	緊急時	直接								●		2	低	小			
	小型家電リサイクルゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	1件						●	●		4	低	小			
	家電リサイクルゴミの発生	社内全体での発生	定常時	直接	0件						●	●		4	低	小			
	粗大ゴミの発生		定常時	直接							●			2	低	小			
	資源ゴミの発生	ペットボトル・ビン・缶	定常時	直接							●		●	4	低	大			
	紙ゴミの発生		定常時	直接								●		2	低	大			
	火災の発生		緊急時	間接		●	●		●		●			8	低	小		○	
	停電		緊急時	間接		●								2	低	小			
	自然災害の発生	地震	緊急時	間接		●	●	●	●		●	●	●	14	高	小		○	
水害		緊急時	間接		●		●	●	●	●			10	高	小		○		
台風		緊急時	間接		●					●			4	低	小				
ウィルス感染症	新型コロナ感染	緊急時	直接		●								2	低	小				

<事業推進本部>

環境影響評価表

良い影響・・・○(1点) 悪い影響・・・●(2点)

活動						環境影響							評価			判定						
インプット または アウトプット	環境側面	設備又は作業	定常時 非定常時 緊急時	直接 間接	発生量 又は 貯蔵量	人の健康	公害(騒音・悪臭・振動)	地盤沈下	地下水・土壌汚染	大気汚染	水質汚染	廃棄物処分場の圧迫	地球温暖化	他の地球環境問題 (森林資源・有害物)	資源の枯渇	影響の評価点(合算)			登録(環境目標)	運用管理		
																良い影響：○(1点)	悪い影響：●(2点)	影響の結果の重大性(高・低)				
インプット	土壌汚染	土壌汚染された土地の購入	緊急時	直接	0件	●		●								4	低	小				
	自主検査の実施	防水・木完・竣工検査	定常時	直接	100%	○							○			2	低	大				
	住宅性能表示制度に対応した設計	耐震等級・劣化対策等級・維持管理対策等級・断熱等性能等級において最高等級を取得	定常時	直接	100%	○				○			○	○		4	低	大				
アウトプット	特定家庭用機器	解体工事の発注(16件)	非定常時	間接	16件					●			●			4	低	小				
	特定建設資材		非定常時	間接	16件	●							●			4	低	大				
	振動の発生		非定常時	間接	16件	●	●									4	低	大				
	騒音の発生		非定常時	間接	16件	●	●									4	低	大				
	廃棄物の発生		非定常時	間接	16件							●	●			4	低	大				
	アスベストの飛散		非定常時	間接	0件	●										2	低	小				
	振動の発生	造成工事の発注(19件)	非定常時	間接	16件	●	●								4	低	大					
	騒音の発生		非定常時	間接	16件	●	●								4	低	大					
	廃棄物の発生		非定常時	間接	16件							●	●			4	低	大				
	廃プラスチック類廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	3.5㎡/棟								●	●	●	6	低	大		○		
	紙くず類廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	4.4㎡/棟								●	●	●	6	低	大		○		
	木くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	4.8㎡/棟								●	●	●	6	低	大		○		
	金属くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0㎡/棟								●	●	●	6	低	小		○		
	陶磁器くず廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	2.2㎡/棟								●	●	●	6	低	大		○		
	石膏ボード廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	2.8㎡/棟								●	●	●	6	低	大		○		
	管理型建設混合廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	5.0㎡/棟								●	●	●	6	低	小		○		
	コンクリート破片廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0㎡/棟								●	●	●	6	低	小		○		
	段ボールリサイクル	建築工事全般	定常時	直接	0.0㎡/棟								○	○	○	3	低	小		○		
	産業廃棄物の発生	アフターサービス等	定常時	直接	36.5㎡/年								●	●	●	6	低	大		○		
	住宅における環境負荷の低減	SE構法による耐震住宅建築受注率向上	定常時	間接	100%					○			○	○	○	4	低	大				
	住宅における環境負荷の低減	環境負荷を抑制する商品の提案・受注	定常時	間接	目標管理					○			○	○	○	4	低	大		◎		

環境委員会
2021 年度

環境方針の見直し

株式会社大興ネクスタ
ISO14001事務局



環 境 方 針

私たち株式会社大興ネクスタは、人が住まう「住空間」を提供する企業として、分譲戸建住宅事業／注文住宅事業（Modula シリーズ）・分譲アパート事業（Archx シリーズ）・中古住宅リノベーション事業の設計、施工、販売を通じ、省エネルギー・省資源を推進し環境負荷の低減を図っています。分譲戸建住宅事業/注文住宅事業では、高耐久・長寿命のSE 構法を採用し、地球環境に優しい住まいづくりを目指します。

また、我々のミッションは「社会資本の再整備・環境との共生」であると捉え、既存マンション建替事業・底借地整理事業・等価交換事業等の不動産再生事業を通じ、環境の保全に配慮しながら社会資本を循環させ、顧客と地域社会にとって、より安全で安心できる安らぎ溢れる豊かな住宅環境の実現に取り組んで参ります。

1. ISO14001に準拠した環境システムを構築し、環境管理活動を推進します。
2. 当社の事業活動が環境に与える影響を考慮し、環境目的・環境目標・環境管理計画を定め、定期的な見直しにより、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
3. 環境関連の法律、規則、協定などを遵守するとともに、自主基準を設定し、環境汚染の未然防止に努めます。
4. 当社の事業活動が環境に与える影響のうち、重点テーマとして次の項目に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化防止のため、省エネルギー・省資源・創エネルギーの推進に努めます。
 - (2) 当社の販売する住宅において、環境負荷の低減に努めます。
 - (3) 循環型社会の実現のため、グリーン購入の推進に努めます。
5. この環境方針は、当社の全従業員及び協力業者に周知徹底し、意識の向上を図るとともに、広く一般の人々にも公表します。

2021年11月1日

株式会社大興ネクスタ
代表取締役 今井 榮一